

中学校  
国語

平成**30**年度  
全国学力・学習状況調査

# 報告書

児童生徒一人一人の学力・学習状況に応じた  
学習指導の改善・充実に向けて

平成**30**年7月  
文部科学省 国立教育政策研究所

# 目 次

<b>1. 調査の概要</b> .....	1
(1) 調査の目的 .....	2
(2) 調査の対象とする児童生徒 .....	2
(3) 調査事項及び手法 .....	2
(4) 調査の方式 .....	2
(5) 調査日時 .....	2
(6) 集計児童生徒・学校数 .....	3
(7) 調査結果の解釈等に関する留意事項 .....	5
<b>2. 教科に関する調査の結果（概要）</b> .....	7
(1) 調査問題の趣旨・内容，課題等，指導改善のポイント .....	8
(2) 集計結果（正答等の状況） .....	11
(3) 知識に関する調査と活用に関する調査の相関等 .....	16
(4) 地域の規模等の状況 .....	17
(5) 都道府県・指定都市の状況 .....	17
(6) 教育委員会の状況 .....	18
(7) 学校の状況 .....	18
(8) 国・公・私立学校の状況 .....	19
<b>3. 教科に関する調査の各問題の分析結果と課題</b> .....	21
(1) 「3. 教科に関する調査の各問題の分析結果と課題」の見方 .....	22
(2) 中学校 国語A .....	25
① スピーチを聞く .....	26
② 図書だよりを作成する .....	28
③ 文学的な文章を読む（「少年」） .....	33
④ 意見文の下書きを推敲する .....	37
⑤ 説明的な文章を読む .....	40
⑥ 話し合いをする .....	44
⑦ ニュースを見る .....	48
⑧ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 .....	51
(3) 中学校 国語B .....	65
① 説明的な文章を読む .....	66
② 資料を作成して発表する（ロボット） .....	73
③ 文学的な文章を読む（「夢を買った話」） .....	78



## 1. 調査の概要

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の対象とする児童生徒

【小学校調査】

小学校第6学年，義務教育学校前期課程第6学年，特別支援学校小学部第6学年

【中学校調査】

中学校第3学年，義務教育学校後期課程第3学年，

中等教育学校前期課程第3学年，特別支援学校中学部第3学年

(3) 調査事項及び手法

① 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査〔国語，算数・数学，理科〕

国語，算数・数学はそれぞれ「主として『知識』に関する問題」(A)<sup>※1</sup>と「主として『活用』に関する問題」(B)<sup>※2</sup>を出題。

理科は「主として『知識』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」を一体的に出題。

※1：身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や，実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

※2：知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や，様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

イ 質問紙調査

学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施。

② 学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施。

(4) 調査の方式

悉皆調査

(5) 調査日時

平成30年4月17日（火）

【小学校調査】

1 時限目	2 時限目	3 時限目	4 時限目	
国語A，算数A (各20分)	国語B (40分)	算数B (40分)	理科 (40分)	児童質問紙 (20～40分程度)

【中学校調査】

1 時限目	2 時限目	3 時限目	4 時限目	5 時限目	
国語A (45分)	国語B (45分)	数学A (45分)	数学B (45分)	理科 (45分)	生徒質問紙 (20～45分程度)

(6) 集計児童生徒・学校数

① 集計基準

児童生徒に対する調査について、平成30年4月17日に実施された教科に関する調査及び質問紙調査の結果を集計。学校に対する質問紙調査については、在籍する児童生徒が調査を実施した学校の結果を集計。

② 集計児童生徒数

(小学校第6学年，義務教育学校前期課程第6学年，特別支援学校小学部第6学年)

	調査対象児童数※1	4月17日に調査を実施した児童数※2	【参考】 4月17日～5月1日に調査を実施した児童数
公立	1,058,472人	1,030,031人	1,036,823人
国立	6,509人	6,399人	6,426人
私立	12,949人	6,990人	7,036人
合計	1,077,930人	1,043,420人	1,050,285人

(中学校第3学年，義務教育学校後期課程第3学年，  
中等教育学校前期課程第3学年，特別支援学校中学部第3学年)

	調査対象生徒数※1	4月17日に調査を実施した生徒数※2	【参考】 4月17日～5月1日に調査を実施した生徒数
公立	1,018,983人	967,196人	969,962人
国立	10,731人	9,988人	10,444人
私立	80,271人	30,906人	31,479人
合計	1,109,985人	1,008,090人	1,011,885人

※1 調査対象児童生徒数について、公立・国立は、調査実施前に学校から申告された児童生徒数、私立は、平成29年度学校基本調査による。調査当日までの転入出等により増減の可能性がある。

※2 調査を実施した児童生徒数は、回収した解答用紙が最も多かった教科の解答用紙の枚数で算出。

③ 集計学校数

(小学校, 義務教育学校前期課程, 特別支援学校小学部)

	調査対象者の 在籍する学校 数	4月17日に調査を 実施した学校数 (実施率%)	【参考】 4月18日～5月1日 に調査を実施し た学校数	【参考】 4月17日～5月1日 に調査を実施した学校 数 (実施率%)
公立	19,433校	19,386校 (99.8%)	35校	19,421校 (99.9%)
国立	75校	75校 (100.0%)	0校	75校 (100.0%)
私立	225校	122校 (54.2%)	1校	123校 (54.7%)
合計	19,733校	19,583校 (99.2%)	36校	19,619校 (99.4%)

(中学校, 義務教育学校後期課程, 中等教育学校前期課程, 特別支援学校中学部)

	調査対象者の 在籍する学校 数	4月17日に調査を 実施した学校数 (実施率%)	【参考】 4月18日～5月1日 に調査を実施し た学校数	【参考】 4月17日～5月1日 に調査を実施した学校 数 (実施率%)
公立	9,630校	9,597校 (99.7%)	18校	9,615校 (99.8%)
国立	80校	77校 (96.3%)	3校	80校 (100.0%)
私立	763校	366校 (48.0%)	4校	370校 (48.5%)
合計	10,473校	10,040校 (95.9%)	25校	10,065校 (96.1%)

#### (7) 調査結果の解釈等に関する留意事項

本調査は、幅広く児童生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的として実施しているが、実施教科が国語、算数・数学、理科の3教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではないことなどから、本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意することが必要である。

本調査の結果においては、国語A、国語B、算数・数学A、算数・数学B、理科ごとの平均正答数、平均正答率等の数値を示しているが、平均正答数、平均正答率のみならず、中央値、標準偏差等の数値や分布の状況を表すグラフの形状など他の情報と合わせて総合的に結果を分析、評価することが必要である。また、個々の設問や領域等に注目して学習指導上の課題を把握・分析し、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることも重要である。

#### <用語説明>

語句	説明
平均正答数	児童生徒の正答数の平均。
平均正答率	平均正答数を百分率で表示。 ○国語A、国語B、算数・数学A、算数・数学B、理科ごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率（概数）。 ○学習指導要領の領域、評価の観点、問題形式、設問ごとの平均正答率は、それぞれの正答児童生徒数を全体の児童生徒数で割った値の百分率。
中央値	集団のデータを大きさの順に並べた時に真ん中に位置する値。 平均値とともに集団における代表値として捉えられる。
最頻値	集団のデータにおいて、最も多く現れる値。
標準偏差	集団のデータの平均値からの離れ具合（散らばりの度合い）を表す数値。標準偏差が0とは、ばらつきがない（データの値が全て同じ）ことを意味する。
相関係数	二つの変数間の関係の程度を一つの数値で表す指標。相関係数は-1から1までの範囲の値をとり、1に近いほど正の相関、-1に近いほど負の相関が強いことを表す。
解答類型	各設問についての正答、予想される誤答などの解答状況を分類し整理したもの。





## 2. 教科に関する調査の結果（概要）

## (1) 調査問題の趣旨・内容，課題等，指導改善のポイント

### ○調査問題の趣旨・内容

#### 国語 A 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

- (例) ■ スピーチの感想に対して先生が述べた言葉として適切なものを選択する。  
■ 図書だよりの下書きの構成を説明したものとして適切なものを選択する。  
■ 「それは掛け値のない一，二秒の間のできごとである」を説明したものとして適切なものを選択する。  
■ 『韓非子』の中の語句の訳を抜き出す(いはく)。

#### 国語 B 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

- (例) ■ 「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く。  
■ 二人に続いてする質問を書く。  
■ 話のあらすじを学級の友達にどのように説明するかを書く。

### ○課題等

#### 主な特徴

- 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み，内容を理解することはできている。  
[A<sup>3</sup>二，B<sup>3</sup>一]
- 目的に応じて文章を読む際などに，情報を整理して内容を的確に捉えることに課題がある。  
[A<sup>5</sup>二，B<sup>1</sup>一，三，B<sup>3</sup>三]
- 文の成分の順序や照応，構成を考えて適切な文を書くことに課題がある。[A<sup>8</sup>四二]

#### 話すこと・聞くこと

- ◇(AB) 話の論理的な構成や展開などに注意して聞いたり，必要に応じて質問したりすることはできている。[A<sup>1</sup>一，B<sup>2</sup>二]
- ◆(AB) 話合いの話題や方向を捉えて的確に話したり，全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話したりすることに課題がある。[A<sup>6</sup>二，B<sup>2</sup>三]

#### 書くこと

- ◇(A) 書こうとする事柄のまとまりや順序を考えて文章を構成することはできている。[A<sup>2</sup>一]
- ◆(A) 伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書くことに課題がある。[A<sup>2</sup>二]

#### 読むこと

- ◇(AB) 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み，内容を理解することはできている。  
[A<sup>3</sup>二，B<sup>3</sup>一]
- ◆(AB) 情報を整理して内容を的確に捉えることに課題がある。[A<sup>5</sup>二，B<sup>1</sup>一，三，B<sup>3</sup>三]

#### 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ◇(A) 文脈に即して漢字を正しく読むことはできている。[A<sup>8</sup>二1，2，3]
- ◆(A) 語句の意味を理解し，文脈の中で適切に使うことについては，一部に課題がある。  
[A<sup>8</sup>三エ，オ，カ]
- ◆(A) 目的に応じて文の成分の順序や照応，構成を考えて適切な文を書くことに課題がある。  
[A<sup>8</sup>四二]
- ◆(A) 行書の基礎的な書き方を理解して書くことに課題がある。[A<sup>8</sup>五]

◇…比較的できている点 ◆…課題のある点 ( )内の記号は，A…国語A，B…国語B  
[ ]内の記号は，問題番号

## ○指導改善のポイント

### 話すこと・聞くこと

#### ○ 目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする指導の工夫

- ・ 目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする力を身に付けるために、話し手がある程度まとまった話をし、それを聞いて質疑応答や意見交換をする言語活動や、互いの思いや考えなどを深めたり広げたりしていく対話や討論などの言語活動を意図的、計画的に位置付ける必要がある。その際、話の全体として伝えたいことを明確にし、それを分かりやすく伝えるために各部分をどのように組み立てるかを考えて話すように指導することや、状況に応じて話の途中で質問したり、話が終わった時点で質問したりするなど、相手が言いたいことを確かめたり、足りない情報を聞き出したりするように指導することが重要である。また、話を合いを効果的に進めるためには、第1学年では話合いの話題や方向を捉えて話すこと、第2学年では目的に沿って話し合うこと、第3学年では進行の仕方を工夫して話し合うことなどについて指導する必要がある。その際、誰と何について話し合うのか、何のために話し合うのかを理解し、今は何について話し合っているのかを捉え、それにに応じて話すように指導することが重要であり、そのことが主体的に話合いに参加する態度を育むことにもつながる。

### 書くこと

#### ○ 目的や意図に応じて相手に分かりやすく書く指導の工夫

- ・ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように書く力を身に付けるために、分かりやすい説明や具体例を加えたり、表現しようとする内容に最もふさわしい語句を選んで描写を工夫したりするように指導する必要がある。その際、ポスターやパンフレット、手紙、新聞などの多様な形式の中から、目的や効果を考慮して選択した上で、読み手に分かりやすく伝えるための記述や構成の工夫などについて考えるように指導することが大切である。また、〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の指導との関連を図り、話し言葉と書き言葉との違いや、文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えたり、事象や行為などを表す多様な語句について理解を深め、実際の表現に生かしたりするように指導することも重要である。

### 読むこと

#### ○ 目的に応じて読み、内容を的確に捉える指導の工夫

- ・ 文章を読み、内容を的確に捉える力を身に付けるために、目的や意図に応じて、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分けて内容を把握するように指導する必要がある。その際、部分ごとに内容を捉えたり、部分と部分との相互の関係を正しく押さえたりしながら読むように指導することが大切である。また、図表が示された文章を読む際には、文章の構成や展開を捉えながら、図表が文章のどの部分と関連しているのかを確認するなどして、書き手の伝えたいことをよりの確に読み取るように指導することが重要である。

### 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

#### ○ 語感を磨き語彙を豊かにする指導の工夫

- ・ 語感を磨き語彙を豊かにするために、それぞれの語句が話や文章の中でどのように使用されているか、自分が表現するときどのように活用すればよいかについて辞書等を用いながら考えたり、学習してきた多様な語句を意識的に使用したりするように指導する必要がある。

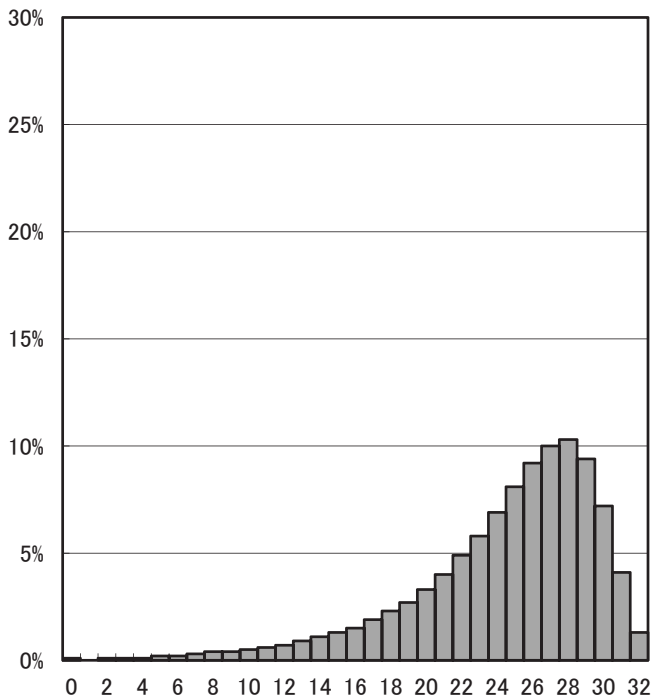


## (2) 集計結果 (正答等の状況)

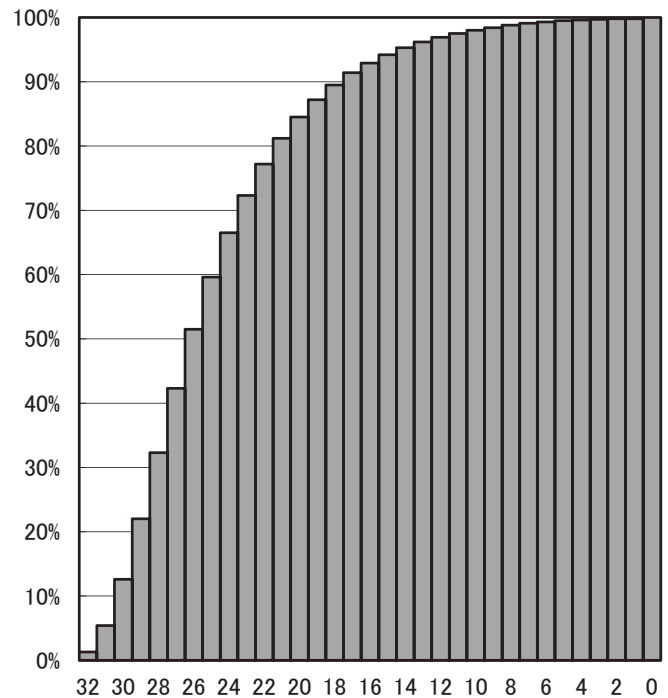
### 【国語A】

生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,007,595 人	24.4 問/32 問	76.4%	26.0 問	5.2	28 問

正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 生徒の割合)



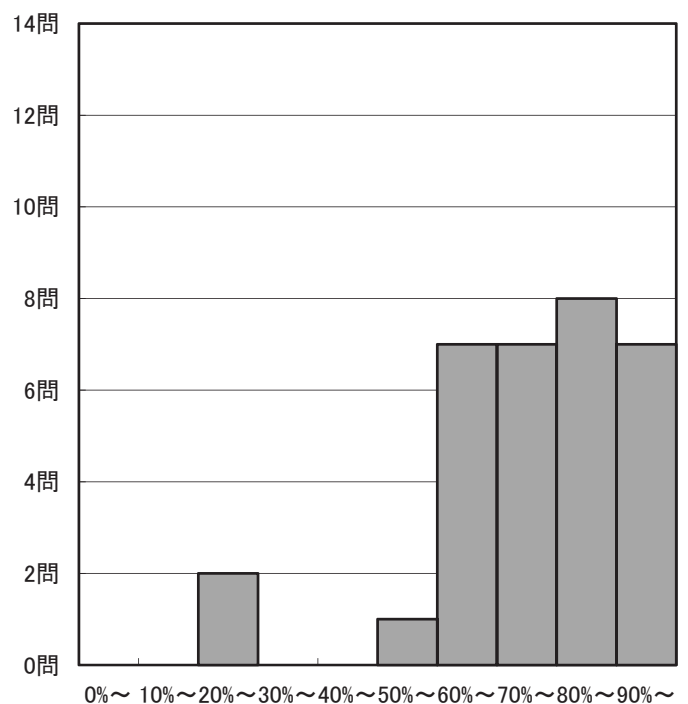
正答数累積グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 累積割合)



分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	3	75.6
	書くこと	4	74.4
	読むこと	4	77.1
	伝統的な言語文化と国語の 特質に関する事項	21	76.8
評価の 観点	国語への関心・意欲・態度	0	
	話す・聞く能力	3	75.6
	書く能力	4	74.4
	読む能力	4	77.1
	言語についての知識・理解・技能	21	76.8
問題形式	選択式	21	77.1
	短答式	11	75.0
	記述式	0	

正答率別問題数 (横軸: 正答率, 縦軸: 問題数)



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率(%)	無解答率(%)	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式			記述式
1ー	スピーチの感想に対して先生が述べた言葉として適切なものを選択する	話の論理的な構成や展開などに注意して聞く	2 エ									○			87.7	0.1
2ー	図書だよりの下書きの構成を説明したものとして適切なものを選択する	書こうとする事柄のまとまりや順序を考えて文章を構成する		1 イ								○			89.7	0.3
2二	二つの意見の内容を一文で書き加える	伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書く		2 ウ								○		○	64.4	3.2
3ー	「それは掛け値のない、二秒の間のできごとである」を説明したものとして適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する			1 ア								○	○	88.4	0.2
3二	父と保吉の言動についての説明として適切なものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する			1 ウ								○	○	83.2	0.2
4ー	意見文の下書きに一文を書き加える意図として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討する		1 エ									○	○	63.5	0.2
4二	段落の内容を入れ替えて書き直す理由として適切なものを選択する	段落相互の関係に注意し、読みやすく分かりやすい文章にする		2 エ									○	○	79.8	0.3
5ー	本文の第六段落の説明として適切なものを選択する	段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てる			2 イ								○	○	76.7	0.5
5二	新聞紙の製造工程の一部を言い表したものとして適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える			1 イ								○	○	60.0	0.4
6ー	話し合いの際のメモのとり方の説明として適切なものを選択する	話し合いの話題や方向を捉える	1 オ									○		○	72.8	0.5
6二	話し合いの中で確認しなければならないことについての司会としての発言を書く	話し合いの話題や方向を捉えて的確に話す	1 オ									○		○	66.3	13.0
7ー	場面に当てはまる語句の意味として適切なものを選択する(ハナイカダ)	語句の辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味を捉える				1(1) イ(4)							○	○	87.5	0.6
7二	「それでは」の働きとして適切なものを選択する	接続詞の働きについて理解する				1(1) イ(1)							○	○	88.7	0.9

問題別集計結果

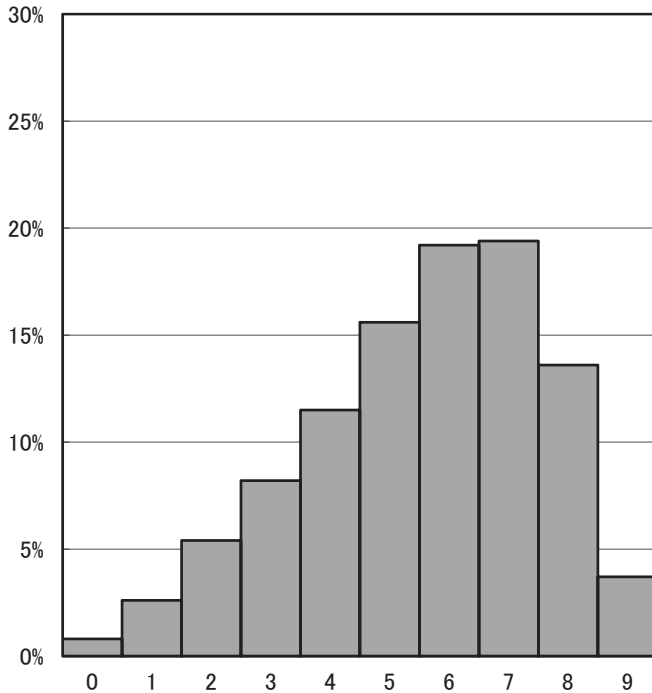
問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			正答率 (%)	無解答率 (%)
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式		
8-1	漢字を書く (紙をひもで <b>タ</b> バねる)	文脈に即して漢字を正しく書く				2 (1)ウ (4)				○	○		79.5	12.9
8-2	漢字を書く (舞台の <b>マ</b> クが上がる)					2 (1)ウ (4)				○	○		73.4	14.1
8-3	漢字を書く (先制点を <b>ユ</b> ルす)					2 (1)ウ (4)				○	○		71.9	19.0
8二1	漢字を読む (模型を作る)	文脈に即して漢字を正しく読む				2 (1)ウ (7)				○	○		95.9	1.8
8二2	漢字を読む (池の水が凍る)					2 (1)ウ (7)				○	○		97.9	0.9
8二3	漢字を読む (技を磨く)					2 (1)ウ (7)				○	○		98.2	1.0
8三ア	適切な語句を選択する (立場の異なる両者の主張は終始一直して変わらず、最後まで結論が出なかった)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				1 (1)イ (9)				○	○		78.1	0.8
8三イ	適切な語句を選択する (魚の中には群れを作って泳ぐ習性をもつものがある)					2 (1)イ (4)				○	○		91.2	0.5
8三ウ	適切な敬語を選択する (先生が私たちに大切なことをお <u>つ</u> し <u>や</u> った)					2 (1)イ (7)				○	○		88.3	0.6
8三エ	適切な語句を選択する (彼は <u>せ</u> きを切ったように話し始めた)					1 (1)イ (9)				○	○		29.5	0.9
8三オ	適切な語句を選択する (意見の折 <u>り</u> 合いを <u>つ</u> ける)					1 (1)イ (9)				○	○		62.4	0.9
8三カ	適切な語句を選択する (わたしが健康になったのは、 <u>ひ</u> と <u>え</u> に母のおかげです)					1 (1)イ (9)				○	○		65.8	1.0
8三キ	適切な語句を選択する (姉はみんなと一緒に運動をすることが好きだ。一方、妹は一人で本を読むことが好きだ)					1 (1)イ (5)				○	○		95.3	1.0
8四1	「心を打たれる」の意味として適切なものを選択する	慣用句の意味を理解する				3・4 (1)ア (4)				○	○		94.8	0.8
8四2	「心を打たれた。」を文末に用いた一文を、主語を明らかにし、「誰(何)」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書く	目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くように書く				2 (1)イ (9)				○	○		22.8	6.4
8五	作品への助言として適切なものを選択する	行書の基礎的な書き方を理解して書く				1 (2)イ				○	○		54.6	1.2
8六1	『韓非子』の中の語句の訳を抜き出す (いはく)	古典の文章と現代語訳とを対応させて内容を捉える				2 (1)ア (4)				○	○		91.3	5.0
8六2	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す (とほさざるなし)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む				1 (1)ア (7)				○	○		63.4	7.2
8六3	『韓非子』の中で矛盾していることの説明として適切なものを選択する	古典に表れたものの見方や考え方を理解する				2 (1)ア (4)				○	○		81.6	2.1



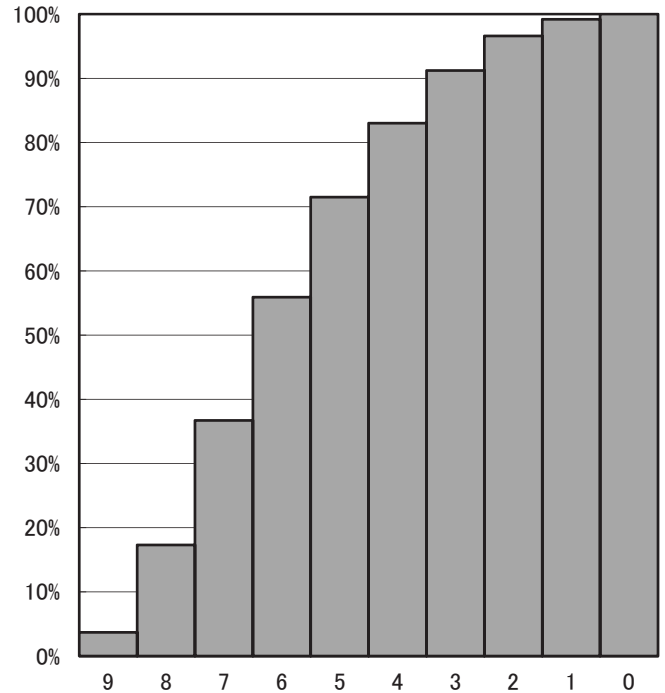
## 【国語B】

生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,007,651人	5.6問/9問	61.7%	6.0問	2.0	7問

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：生徒の割合）



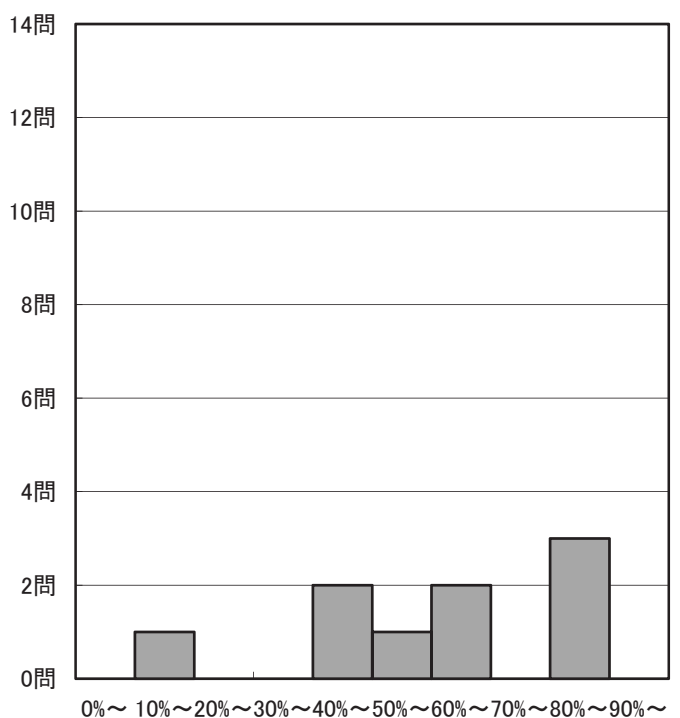
正答数累積グラフ（横軸：正答数，縦軸：累積割合）



分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	3	76.9
	書くこと	2	31.7
	読むこと	6	54.1
	伝統的な言語文化と国語の 特質に関する事項	1	49.6
評価の 観点	国語への関心・意欲・態度	3	50.7
	話す・聞く能力	3	76.9
	書く能力	2	31.7
	読む能力	6	54.1
	言語についての知識・理解・技能	1	49.6
問題形式	選択式	6	67.2
	短答式	0	
	記述式	3	50.7

正答率別問題数（横軸：正答率，縦軸：問題数）



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率(%)	無解答率(%)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式			記述式	
1一	グラフから分かることについて文章中で説明しているものとして適切なものを選択する	文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉える			1 イ						○		○			46.6	0.2
1二	複数の辞書を引用して「天地無用」の意味を示す効果として適切なものを選択する	文章の構成や展開について自分の考えをもつ			1 エ							○	○			65.1	0.2
1三	「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く	目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く		2 ウ	1 イ			○		○	○			○		13.9	6.8
2一	二人の質問の意図として適切なものを選択する	質問の意図を捉える	1 エ							○			○			87.1	0.2
2二	二人に続いてする質問を書く	話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する	1 エ					○	○					○		88.6	5.8
2三	ロボットに期待することを述べて発表をまとめる際の話の進め方として適切なものを選択する	全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話す	1 イ							○			○			55.1	0.4
3一	登場人物についての説明として適切なものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する			1 ウ							○	○			80.7	0.4
3二	文章中の表現について語った人物として適切なものを選択する	登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる			2 イ							○	○			68.8	0.4
3三	話のあらすじを学級の友達にどのように説明するかを書く	相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く	1 ウ	1 イ	2(1) ア(4)		○			○	○	○		○		49.6	12.1

### (3) 知識に関する調査と活用に関する調査の相関等

#### ■国語Aと国語Bの相関等

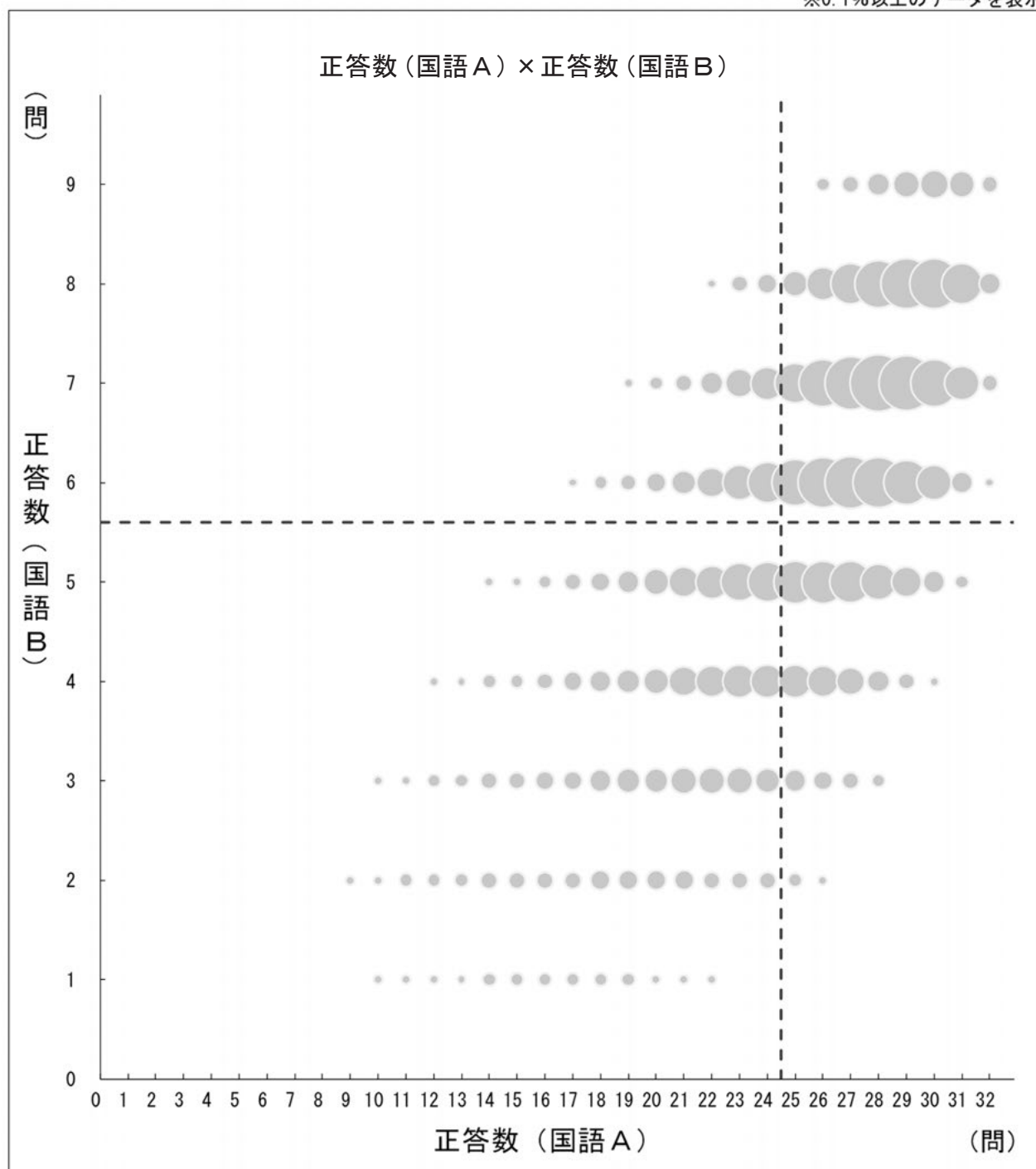
- 中学校において、国語Aと国語Bの正答数に相関（相関係数 0.671）が見られる。
- 「国語Aは平均以上」かつ「国語Bは平均未満」の生徒の割合は 14.0%、「国語Aは平均未満」かつ「国語Bは平均以上」の生徒の割合は 10.2%となっている。

国語Aの正答数、国語Bの正答数、正答生徒数の相関をバブルチャートに表したものの。

※ バブルチャート：2軸の座標軸の上に、大きさが3軸目の指標を示す円状の図（バブル）を配置した図表。

生徒数	全国（国公立） 国語A平均正答数	全国（国公立） 国語B平均正答数	生徒の正答数分布状況（上段：生徒数 下段：生徒数の割合(%)）				相関係数
			国語A・国語B ともに平均以上	国語Aは平均以上 国語Bは平均未満	国語Aは平均未満 国語Bは平均以上	国語A・国語B ともに平均未満	
986,226	24.5	5.6	454,130 46.0	137,873 14.0	100,143 10.2	294,080 29.8	0.671

※0.1%以上のデータを表示

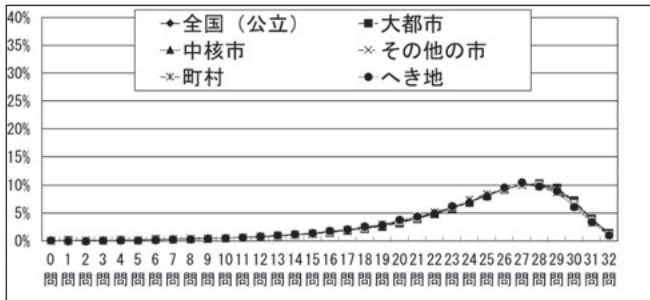


※グラフの点線は、全国（国公立）の平均正答数を表す。

## (4) 地域の規模等の状況

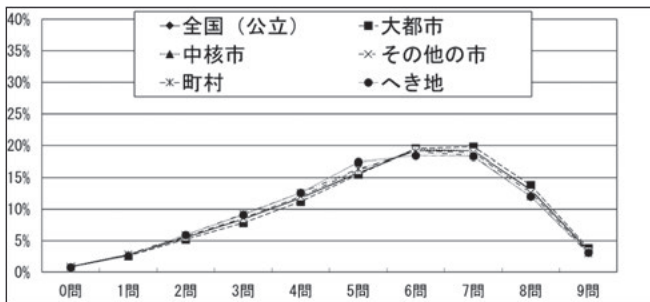
○ 平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差を見ると、29年度同様、地域の規模等（公立：大都市、中核市、その他の市、町村、へき地）による大きな差は見られない。

[国語A] 正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：生徒の割合）



	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
全国（公立）	966,764	24.3 / 32	76.1	26.0	5.3
大都市	235,727	24.4 / 32	76.4	26.0	5.3
中核市	160,993	24.4 / 32	76.2	26.0	5.3
その他の市	471,426	24.2 / 32	75.7	25.0	5.2
町村	88,800	24.1 / 32	75.4	25.0	5.2
へき地	14,485	24.2 / 32	75.6	25.0	5.1

[国語B] 正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：生徒の割合）



	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
全国（公立）	966,786	5.5 / 9	61.2	6.0	2.0
大都市	235,772	5.6 / 9	62.1	6.0	2.0
中核市	161,030	5.5 / 9	61.1	6.0	2.0
その他の市	471,371	5.5 / 9	60.6	6.0	2.0
町村	88,797	5.4 / 9	60.0	6.0	2.0
へき地	14,486	5.4 / 9	60.1	6.0	2.0

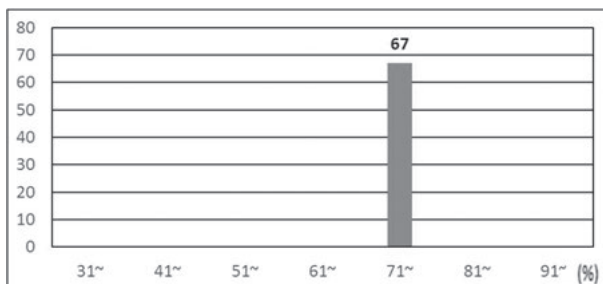
※大都市（政令指定都市及び東京23区）、中核市、その他の市、町村の値は、当該地方公共団体の教育委員会が設置管理する公立学校に在籍する生徒の調査結果（正答数）を集計したものである（都道府県立学校は含まない）。  
 ※へき地の値は、へき地教育振興法及び各都道府県の条例（規則）によって指定された学校に在籍する生徒の調査結果を集計したものである。大都市、中核市、その他の市、町村の値に重複する。

## (5) 都道府県・指定都市の状況

○ 各都道府県・指定都市（公立）の状況については、平均正答率を見ると、29年度同様、ほとんどの都道府県・指定都市が平均正答率の±5%の範囲内にあり、大きな差は見られない。

[国語A]

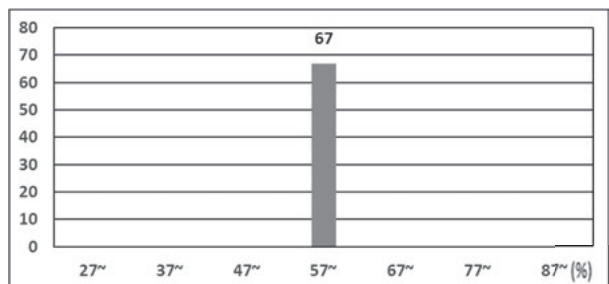
正答率分布グラフ（横軸：平均正答率、縦軸：都道府県・指定都市数）



全国（公立）の平均正答率	全都道府県市（公立）中、最高平均正答率【全国との差】	全都道府県市（公立）中、最低平均正答率【全国との差】
76%	80% 【+4%】	72% 【-4%】

[国語B]

正答率分布グラフ（横軸：平均正答率、縦軸：都道府県・指定都市数）



全国（公立）の平均正答率	全都道府県市（公立）中、最高平均正答率【全国との差】	全都道府県市（公立）中、最低平均正答率【全国との差】
61%	66% 【+5%】	58% 【-3%】

※都道府県は指定都市を除く。全国（公立）の平均正答率は整数値で表示している。

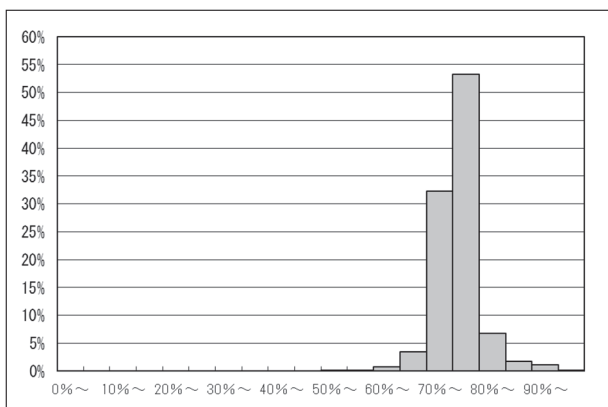
## (6) 教育委員会の状況

○ 各教育委員会の状況については、全国平均からの離れ具合を表す平均正答率の標準偏差を見ると、29年度同様、全体としてはそれほど大きなばらつきは見られない。

### [国語A]

教育委員会数	教育委員会の平均正答数	教育委員会の平均正答率(%)	教育委員会の中央値(%)	教育委員会の標準偏差
1,792	24.3 / 32	76.0	75.9	4.1

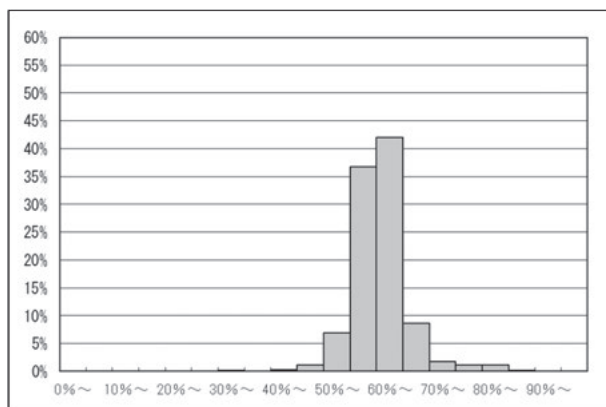
正答率分布グラフ（横軸：平均正答率，縦軸：教育委員会の割合）



### [国語B]

教育委員会数	教育委員会の平均正答数	教育委員会の平均正答率(%)	教育委員会の中央値(%)	教育委員会の標準偏差
1,792	5.5 / 9	60.8	60.5	5.3

正答率分布グラフ（横軸：平均正答率，縦軸：教育委員会の割合）



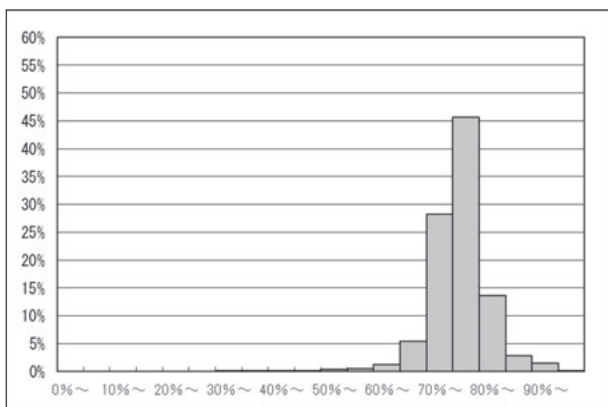
## (7) 学校の状況

○ 各学校の状況については、全国平均からの離れ具合を表す平均正答率の標準偏差を見ると、29年度同様、全体としてはそれほど大きなばらつきは見られない。

### [国語A]

学校数	学校の平均正答数	学校の平均正答率(%)	学校の中央値(%)	学校の標準偏差
10,038	24.4 / 32	76.1	76.3	6.1

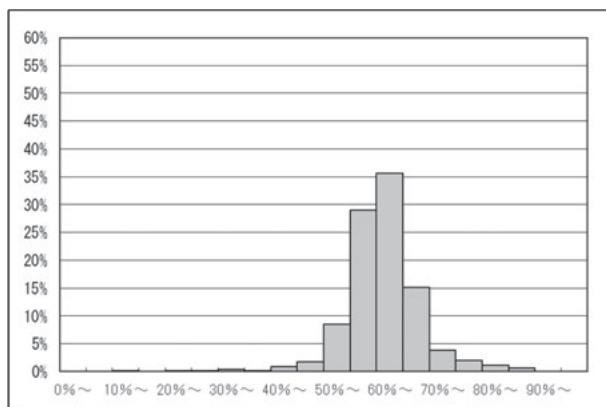
正答率分布グラフ（横軸：平均正答率，縦軸：学校の割合）



### [国語B]

学校数	学校の平均正答数	学校の平均正答率(%)	学校の中央値(%)	学校の標準偏差
10,037	5.5 / 9	61.3	61.1	7.4

正答率分布グラフ（横軸：平均正答率，縦軸：学校の割合）

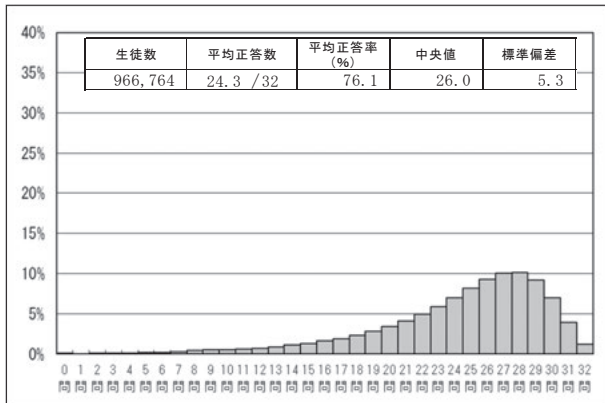


## (8) 国・公・私立学校の状況

○ 国立・私立学校は一般的に入学者選抜を行っていることに留意する必要があるが、平均正答数について見ると、29年度同様、国立・私立学校は、公立学校を上回っている。

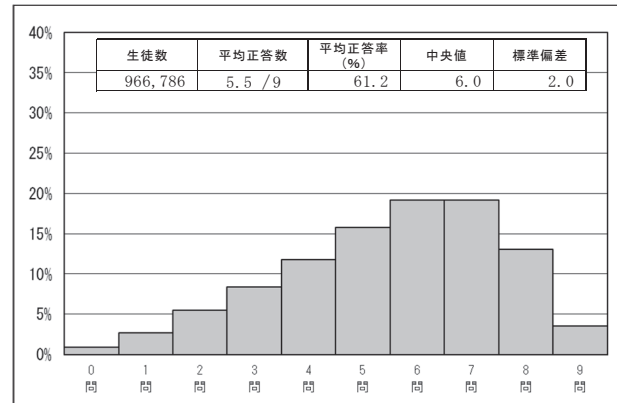
### [国語A]

<公立> 正答数分布グラフ (横軸：正答数, 縦軸：生徒の割合)

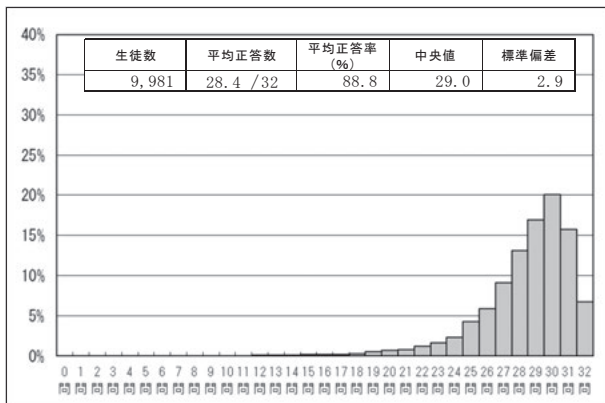


### [国語B]

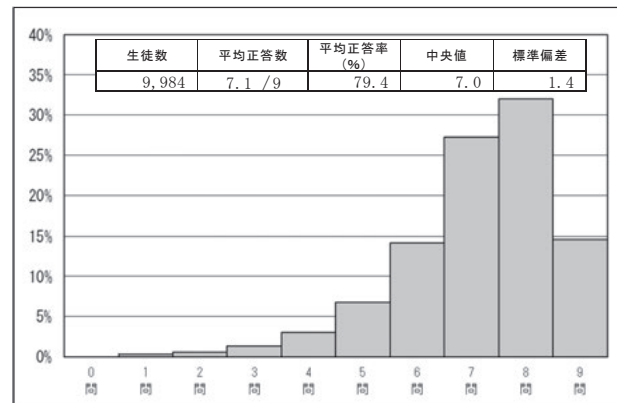
<公立> 正答数分布グラフ (横軸：正答数, 縦軸：生徒の割合)



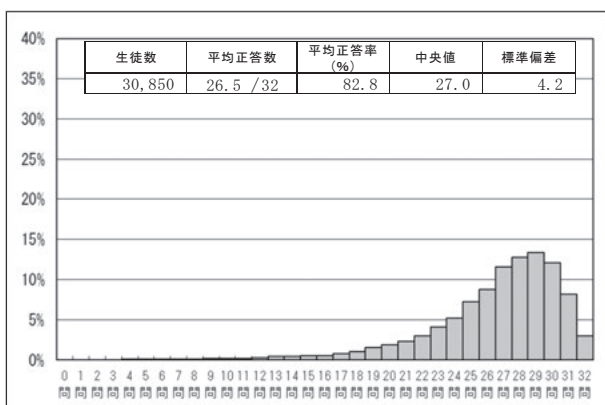
<国立> 正答数分布グラフ (横軸：正答数, 縦軸：生徒の割合)



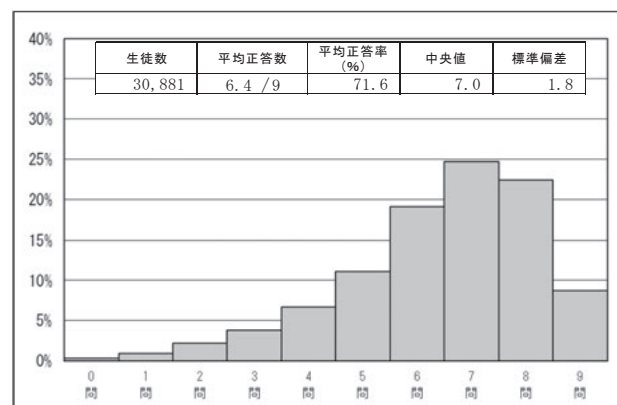
<国立> 正答数分布グラフ (横軸：正答数, 縦軸：生徒の割合)



<私立> 正答数分布グラフ (横軸：正答数, 縦軸：生徒の割合)



<私立> 正答数分布グラフ (横軸：正答数, 縦軸：生徒の割合)





### 3. 教科に関する調査の各問題の分析結果と課題



### (1) 「3. 教科に関する調査の各問題の分析結果と課題」の見方

調査問題について、出題の趣旨、学習指導要領における領域・内容、解答類型と反応率、分析結果と課題、学習指導に当たって等を記述しています。

**問題画像**  
調査問題を縮小して掲載しています。

**出題の趣旨**  
調査問題ごとに  
出題の趣旨を示しています。

**趣旨**  
問題ごとの趣旨を示しています。

■ **学習指導要領における領域・内容**  
調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実を図る際に参考となるよう、関係する学習指導要領における領域・内容を示しています。

**1. 解答類型と反応率**  
解答類型ごとの反応率、正答の条件を示しています。(詳細は下欄参照)

教科名A☐ .....

問題画像

出題の趣旨  
.....

設問○  
趣旨  
.....

■ **学習指導要領における領域・内容**  
(第○学年) .....

**1. 解答類型と反応率**

問題番号	解答類型	反応率(%)	正答
☐ ○ 1	.....	.....	◎
2	.....	.....	
3	.....	.....	
4	.....	.....	
39	上記以外の解答	.....	
0	無解答	.....	

**解答類型と反応率**

解答類型は、児童生徒一人一人の具体的な解答状況を把握することができるよう、設定する条件などに即して解答を分類、整理するためのものです。正誤だけではなく、児童生徒一人一人の誤答の状況(どこでつまづいているのか)等に着目した学習指導の改善・充実を図る際に活用することができます。

<正答について>

「◎」… 解答として求める条件を全て満たしている正答

「○」… 問題の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答

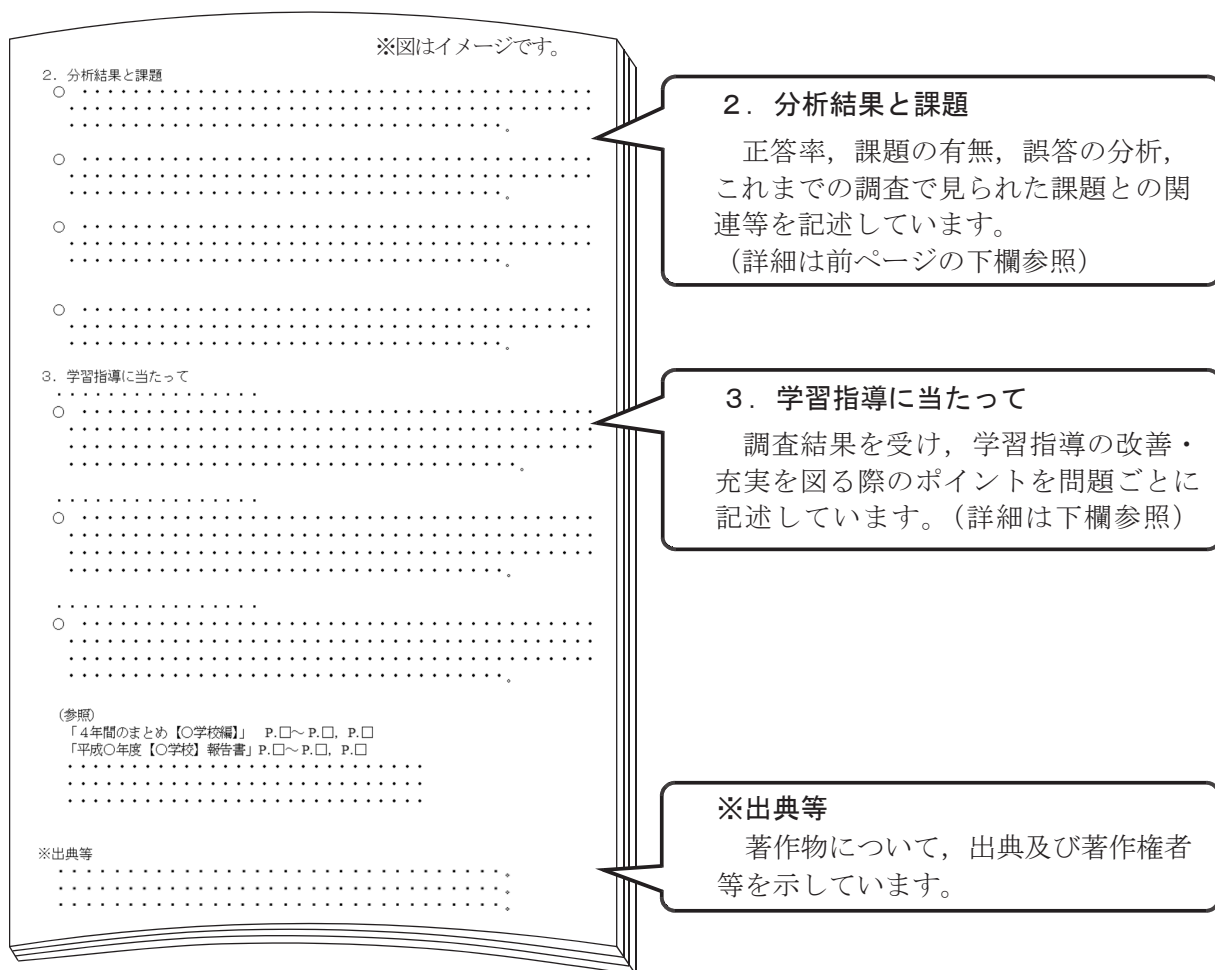
※ 反応率は小数第二位を四捨五入したものであるため、「◎」と「○」の反応率の合計と正答率が一致しない場合や合計が100%にならない場合があります。

**分析結果と課題**

問題ごとに、以下の内容について記述しています。

- ・ 正答率、課題の有無
- ・ 特徴的な誤答について、反応率、解答例、課題の詳細
- ・ これまでの調査で見られた課題との関連 など

-22-



**学習指導に当たって**

調査問題に関係する領域・内容について，各学年での日々の学習指導の改善・充実を図る際に御活用ください。また，本書のほか，授業の改善・充実を図る際の参考となるよう，授業のアイデアの一例を示すものとして「授業アイデア例」(本年8月下旬公表予定)を作成しますので，本書及び「解説資料」(本年4月公表)と併せて御活用ください。

なお，関連する過去の調査の報告書や授業アイデア例など，これまで作成した資料の該当ページを記載していますので，これらの資料も併せて御活用ください。

本書では，以下の資料については略称を用いています。

資 料	略 称
「全国学力・学習状況調査の4年間の調査結果から今後の取組が期待される内容のまとめ～児童生徒への学習指導の改善・充実に向けて～【○学校編】」	「4年間のまとめ【○学校編】」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 ○学校 ○○」	「平成○年度【○学校】解説資料」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査 報告書 ○学校 ○○」	「平成○年度【○学校】報告書」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査【○学校】の結果を踏まえた授業アイデア例」	「平成○年度【○学校】授業アイデア例」
「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力，判断力，表現力等の育成に向けて～【○学校版】」	「言語活動事例集【○学校版】」



### 3. 教科に関する調査の各問題の分析結果と課題

#### (2) 中学校 国語 A

# 国語A 1 スピーチを聞く

1 山田さんは、「生活面や学習面で頑張りたいこと」というテーマでスピーチをしました。次は、山田さんの「スピーチ」と、それを聞いたあとの【村井さんの感想】と【清水さんの感想】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【スピーチ】

私が頑張りたいと思っていることは、英語の勉強です。  
先日バス停で、外国の方に“Excuse me.”と話しかけられ、英語で駅までの道順を尋ねられました。私は英語が苦手なので、一瞬、その場から逃げ出したい気持ちになりました。しかし、きちんと伝えなければ相手が困るだろうと考え、授業で道案内について学習したことを思い出しながら、goやturnなどの単語を使い、身振り手振りを交えて説明しました。時間がかかりましたが、何とか駅までの道順を伝えることができました。最後に“Thank you.”と言われたので、“You’re welcome.”と答えたら、相手は笑顔で手を振りながら駅に向かっていきました。自分の話した英語が外国の方に伝わってとてもうれしく思いました。決して上手な話し方ではなかったかもしれませんが、今まで学んできたことが実際の場面で役に立ってよかったです。  
それ以来、私はもっと他の場面でも英語を使ってみたいと思うようになりました。これからは、実際に使う場面を考えながら、英語の勉強を頑張っていきたいと思います。



【村井さんの感想】

山田さんが具体的な経験を詳しく話してくれたので、なぜ英語を頑張りたいのかがとてもよく分かりました。私も英語で道順を尋ねられたことがあります。私の場合、相手の行きたい場所は分かりましたが、そこまでの道順を英語でどのように説明すればよいかが分からず、何も言えませんでした。だから、山田さんが英語で道案内ができたという話を聞いて、うらやましく思いました。私も、これからは、山田さんと同じように実際に使う場面を考えながら、英語を勉強していきたいと思います。

【清水さんの感想】

スピーチの始めに自分が頑張りたいことを話し、次になぜ頑張りたいのかを経験をもとに話していたので、説得力がありました。また、最後に何を頑張りたいのかをもう一度述べていたので、山田さんの英語の勉強に対する思いが強く印象に残りました。自分が伝えたいことを繰り返して述べるような話の組み立て方は効果的だと思います。

1 【村井さんの感想】と【清水さんの感想】に対して先生が述べた言葉として最も適切なものを、次の1から5までの中からそれぞれ一つ選びなさい。

- 1 山田さんの言葉遣いや語句の選び方が適切かどうかを考慮することができますね。
- 2 山田さんの言葉の調子や間の取り方、話す速度に着目することができますね。
- 3 山田さんの考えと自分の考えを比べて、質問したい内容を見付けることができますね。
- 4 山田さんの経験に着目し、自分の経験と結び付けて話の内容に共感することができますね。
- 5 山田さんのスピーチの構成がどのように工夫されているのかを考慮することができますね。

## 出題の趣旨

・ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞くこと

## 設問一

### 趣旨

話の論理的な構成や展開などに注意して聞くことができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 A 話すこと・聞くこと

エ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較すること。

《聞くこと》

## 1. 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型		反応率 (%)	正答
①	—	1	【村井さんの感想】の欄に4, 【清水さんの感想】の欄に5と解答しているもの	87.7	◎
		2	【村井さんの感想】の欄に4と解答し, 【清水さんの感想】の欄に5と解答していないもの	5.3	
		3	【清水さんの感想】の欄に5と解答し, 【村井さんの感想】の欄に4と解答していないもの	2.7	
		99	上記以外の解答	4.2	
		0	無解答	0.1	

## 2. 分析結果と課題

- 解答類型2の反応率は5.3%である。このように解答した生徒は、清水さんが、山田さんの【スピーチ】の構成の工夫に着目していることが理解できていない。清水さんは「始めに」、  
「次に」、「最後に」などの言葉を用いて、山田さんの【スピーチ】の構成について触れている。

## 3. 学習指導に当たって

### 論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えを整理する

スピーチなどを聞く際には、話の論理的な構成や展開などに注意しながら聞くように指導することが引き続き大切である。その際、自分の考えを広げたり、不十分な点に気付いたりするために、賛成又は反対、納得できる又は納得できないなど、自分の考えを整理しながら話を聞くように指導することが重要である。例えば、他の人のスピーチを聞きながら書いたメモを基に、話の内容の組み立て方について吟味したり、自分の考えと比較して質問を考えたりするなどの学習活動が考えられる。

指導に当たっては、平成22年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A③―に係る授業アイデア例「伝えたい内容を効果的に相手に伝えるための表現の仕方についてとらえることができるようにする。」も参考になる。

(参照)

「平成22年度【中学校】授業アイデア例」P. 1

「平成22年度【中学校】報告書」P. 110

「4年間のまとめ【中学校編】」P. 89

国語A 2 図書だよりを作成する

2 次は、図書委員の鈴木さんが書いた【図書だよりの下書き】と、それを読んだ他の図書委員から出された【意見1】と【意見2】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【図書だよりの下書き】

**図書だより** 第一中学校図書委員会

電子書籍を読んでもみませんか？

電子書籍とは？  
パソコンの画面などで読むことができる電子化された書籍のことです。

電子書籍を読むには？  
家にパソコンなどがなくても、市立図書館に行くと読むことができます。ぜひ一度、体験してみませんか。

A

おすすめの電子書籍は？  
『私たちの町の歴史』という本をおすすめします。私たちの暮らす地域がどのように発展してきたかが紹介されています。

利用の仕方を詳しく知るには？  
電子書籍の利用の仕方を詳しく書いたパンフレットが学校図書館にあります。興味がある人は学校図書館に来てください。

【意見1】  
市立図書館のパソコンを利用するには、受付で申し込めばよいことを伝えよう。

【意見2】  
市立図書館のパソコンは、数に限りがあることも書いておくとよい。

一 【図書だよりの下書き】の構成を説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 伝えたいことを、重要なものから順に番号を付けて箇条書きで書いている。
- 2 伝えたいことを、問いとそれに答える形で複数の項目を設けて書いている。
- 3 伝えたいことを、項目を設けずに始めから終わりまでひとまとまりの文章で書いている。
- 4 伝えたいことを、見出しを付けずに複数の段落を設けて書いている。

二 鈴木さんは、【図書だよりの下書き】のAの部分に、【意見1】と【意見2】の両方の内容を一文で書き加えることにしました。次の□に当てはまる言葉を、「なお 市立図書館では」に続けて、三十文字以内で書きなさい。

なお、市立図書館では、□

## 出題の趣旨

- ・ 書こうとする事柄のまとめや順序を考えて文章を構成すること
- ・ 伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書くこと

### 設問一

#### 趣旨

書こうとする事柄のまとめや順序を考えて文章を構成することができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 B 書くこと

イ 集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成すること。 《構成》

### 1. 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答	
②	1	3.8		
	2	89.7	◎	
	3	3.2		
	4	2.9		
	99	上記以外の解答	0.0	
	0	無解答	0.3	

### 2. 分析結果と課題

- 解答類型1, 3, 4の反応率の合計は9.9%である。このように解答した生徒は、項目の意味や項目と項目との関係が理解できていないものと考えられる。



### 3. 学習指導に当たって

#### 目的や意図に応じた構成を工夫する

文章を書く際には、目的や意図に応じて書こうとする事柄のまとまりや順序を考えて文章を構成するように指導することが引き続き大切である。その際、集めた材料の関連を考えて分類したり、時間的な推移や因果関係などに基づいて整理したりした上で段落の役割を考え、目的や意図に応じた構成を工夫することが重要である。例えば、イベントの案内や委員会活動の報告などの身近にある文章を取り上げて、文章の構成の工夫やその効果などについて話し合ったり、同じ材料を基に書いた複数の文章について、それぞれの構成を比較したりするなどの学習活動が考えられる。

指導に当たっては、平成21年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B<sup>1</sup>三アに係る授業アイデア例「身近な資料を用いて、表現の仕方や文章の特徴をとらえ、自分の表現に役立てることができるようにする。」「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語-13『部活動新聞』を作ろうも参考になる。

(参照)

「平成21年度【中学校】授業アイデア例」P. 3

「平成21年度【中学校】報告書」P. 214

「4年間のまとめ【中学校編】」P. 102

「言語活動事例集【中学校版】」P. 43～P. 44

#### 設問二

#### 趣旨

伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書くことができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 B 書くこと

ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。 《記述》

#### 1. 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答
②	二 (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【意見1】と【意見2】の両方の内容を取り入れて書いている。 ② 「なお、市立図書館では、」に適切に続けて、伝えたいことが分かるように書いている。 ③ 三十字以内の一文で書いている。		
	1 条件①, ②, ③を満たして解答しているもの	64.4	◎
	2 条件①, ②を満たし, 条件③を満たさないで解答しているもの	3.7	
	3 条件①, ③を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの	1.1	
	4 条件②, ③を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの	23.1	
	99 上記以外の解答	4.5	
	0 無解答	3.2	

## 2. 分析結果と課題

○ 解答類型4の反応率は23.1%である。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ (なお, 市立図書館では,) パソコンを利用するには, 受付で申し込むとよい。(。)  
(22字)
- ・ (なお, 市立図書館では,) パソコンが設置されていますが, 数に限りがあります。(。)  
(24字)

このように解答した生徒は, 【意見1】の「パソコンを利用するには, 受付で申し込めばよいこと」という内容と, 【意見2】の「パソコンは, 数に限りがあること」という内容のどちらか一方しか書くことができていない。

(例)

- ・ (なお, 市立図書館では,) 受付で申し込めますが, 数に限りがあるのでお気を付けてください。(。)  
(29字)
- ・ (なお, 市立図書館では,) 数に限りがあるので利用を希望する人は受付で申し込んでください。(。)  
(30字)

このように解答した生徒は, 読み手に伝える必要がある事実や事柄を踏まえて, 「受付で申し込」むものや, 「数に限りがある」ものがパソコンであることを明らかにして書くことができていない。

(例)

- ・ (なお, 市立図書館では,) パソコンが利用できますが, 数に限りがあります。(。)  
(22字)

このように解答した生徒は, 読み手に伝える必要がある事実や事柄を踏まえて, 【意見1】の「(市立図書館のパソコンを利用するには,) 受付で申し込めばよい」ことを明らかにして書くことができていない。

### 3. 学習指導に当たって

#### 目的や意図に応じて説明や具体例を書き加える

伝えたい事実や事柄、意見などを相手に効果的に伝えるためには、目的や意図に応じて説明や具体例を書き加えたり、表現しようとする内容に最もふさわしい語句を選んで描写を工夫したりするように指導することが大切である。例えば、係からの報告や記録の文章に不足している情報や、付け加えた方がよい情報について検討し、実際に説明や具体例を書き加えるなどの学習活動が考えられる。その際、第1学年〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(1)の「イ 言葉の特徴やきまりに関する事項」(エ)との関連を図り、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意するように指導することも有効である。

指導に当たっては、平成21年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B<sup>1</sup>三アに係る授業アイデア例「身近な資料を用いて、表現の仕方や文章の特徴をとらえ、自分の表現に役立てることができるようにする。」、平成22年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A<sup>9</sup>二に係る授業アイデア例「相手に応じた適切な表現で案内文を書くことができるようにする。」、平成24年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B<sup>2</sup>三に係る授業アイデア例「資料に書かれている情報の中から必要な内容を選び、伝えたい事柄が明確に伝わるように書くことができるようにする。」、平成25年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A<sup>3</sup>二に係る授業アイデア例「合唱コンクール必勝法を伝えるポスターを書く」、平成27年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A<sup>7</sup>二に係る授業アイデア例「問合せのメールに回答する」、平成28年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B<sup>1</sup>三に係る授業アイデア例「係の活動への協力を呼びかけるちらしを作る」も参考になる。

(参照)

「平成21年度【中学校】授業アイデア例」P. 3

「平成21年度【中学校】報告書」P. 214

「4年間のまとめ【中学校編】」P. 102

「平成22年度【中学校】授業アイデア例」P. 2

「平成22年度【中学校】報告書」P. 136

「平成24年度【中学校】報告書」P. 199

「平成25年度【中学校】授業アイデア例」P. 13～P. 14

「平成27年度【中学校】授業アイデア例」P. 3

「平成28年度【中学校】授業アイデア例」P. 5～P. 6

国語A 3 文学的な文章を読む（「少年」）

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「ここまでのあらすじ」 七歳の保吉は父親と玩具屋を訪れ、店主から幻灯の映し方（ガラス板の裏を光でスクリーンに映す機械の使い方）を聞いている。

「あのぼんやりしているのはレンズのピントを合わせさせれば——この前にあるレンズです。すぐにこらんとおり、はつきりなります。」

主人はもう一度おび腰になった。と同時にしゃぼん玉はみるみる一枚の風景画に変わった。もともとも日本の風景画ではない。水路の両側に家々のそびえた、どこか西洋の風景画である。時刻はもう日の暮れに近いころであろう。三日月は右手の家々の空にすかすかに光を放っている。その三日月も、家々も、家々の窓の薔薇の花も、ひっそりとたたえた水の上へ鮮やかに影を落としている。人影はもろろん、見わたしたところかもめ一羽浮かんでいない。水はただ突き当たりの橋の下へまっすぐにひとすじつづいていく。

「イタリヤのベニス」の風景でございませう。」

三十年後の保吉にヴェネチアの魅力を教えたのはダン・スチオの小説である。けれども当時の保吉は、この家々だの水路だにただたよりのない寂しさを感じた。彼の愛する風景は、大きい舟の観音堂の前に無数の鳩の飛ぶ浅草である。あるいはまた高い時計台の下に鉄道馬車の通る銀座である。それらの風景に比べると、この家々だの水路だのは、なんと寂しさに満ちているのである。鉄道馬車や鳩は見えずともよい。せめてはむこうの橋の上に一列の汽車でも通っていたら、——ちょうどこう思ったとたんである。大きいリボンをした少女が一人、右手に並んだ窓の一つから突然小さい顔を出した。どの窓かははつきり覚えていない。しかしだいたい三日月の下の窓だことだけはたしかである。少女は顔を出したと思うと、さらにその顔をこちらへむけた。それから「遠目にも愛くるしい顔に疑い余地のないほほえみを浮かべた」が、それは掛け飾の「二秒の間のできごと」である。思わず「おや」と目を見はつた時には、少女はもういつの間にか窓の中へ姿を隠したのである。窓はどの窓も同じように人気のない窓かけを垂らしている。……

「さあ、もう映しかたはわかっただろう？」

父の言葉はぼんやりとした彼を現実の世界へ呼びもどした。父は葉巻をくわえたまま、退屈そうに後ろにたずずんでいる。玩具屋の外の往来もあかわらず人通りを絶たないらしい。主人も——きれいに髪を分けた主人は小手調べをすませた手品師のように、妙に蒼白い頬のあたりへ満足的微笑をたたよせている。保吉は急にこの幻灯を一刻も早く彼の部屋へ持って帰りたいと思いだした。……

保吉はその晩父といっしょに蠟を引いた布の上へ、もう一度ヴェネチアの風景を映した。中空の三日月、両側の家々、家々の窓の薔薇の花を映したとすじの水路の水の光、——それは昔前に見たとおりの。が、あの愛くるしい少女だけはどこか今度ほど顔を出さない。窓という窓はいつまで待っても、だらりと下がった窓かけの後ろに家々の秘密を封じている。保吉はどうとう待ち遠しさにたえかね、ランプの具合などを気にしていた父へ、懇願するように話しかけた。

「あの女の子はどうして出ないの？」

「女の子？ どこかに女の子がいるのかい？」

父は保吉の問いの意味さえ、はつきりわからない様子である。

「ううん、いはいないけれど、顔だけ窓から出したじゃないの？」

「いつさ？」

「玩具屋の壁へ映した時に。」



参考〈幻灯〉

「あの時も女の子なんぞは出やしないさ。」

「だって顔を出したのが見えたんだもの。」

「何を言っている？」

父はなんと思ったか保吉の顔へ手のひらをやった。それから急に保吉にもつけ景気とわかる大声を出した。

② さあ、今度は何を映そう？」

けれども保吉は耳にもかけず、ヴェネチアの風景をながめつづけた。窓は薄暗い水路の水に静かな窓かけを映している。しかしいつかそこが窓から、大きいリボンをした少女が一人、突然顔を出さぬものでもない。——彼はこう考えると、名状のできぬなつかしさを感じた。同時に従来知らなかった、あざうらしい悲しさも感じた。あの画の幻灯の中にちりと顔を出した少女は、じつさい何か超自然の霊が彼の目に姿を現わしたのであるか？ あるいはまた少年に起こりやすい幻覚の一種にすぎなかったのだろうか？ それらもろろん彼自身にも解決できないのにはがいない。

（芥川龍之介「少年」による）

（注1） ベニス＝ヴェネチア。イタリヤ北部に位置する都市。「水の都」の別名をもつ。

（注2） ダンスチオ＝イタリヤの詩人、小説家、劇作家。

（注3） 丹後り＝赤または黄色に塗ってあること。また、塗ってあるもの。

（注4） 欺瞞＝事情を述べて熱心に騙うこと。

（注5） つけ景気＝実際はそうではないのに景気がよいように見せかけること。

（注6） 名状のできぬ＝言葉で言い表すことができない。

——線部①「それは掛け飾の「二秒の間のできごと」であり、二秒の間のできごとである」とありますが、「掛け飾」はこの場合、物事を大げさに言うことを意味します。この部分についての説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 少女の映っていた時間が、ほんのわずかな間のできごとであったということ。

2 少女の映っていた時間が、ずいぶん長い間のできごとであったということ。

3 ヴェネチアの風景の映っていた時間が、ほんのわずかな間のできごとであったということ。

4 ヴェネチアの風景の映っていた時間が、ずいぶん長い間のできごとであったということ。

——線部②「さあ、今度は何を映そう？」けれども保吉は耳にもかけず、ヴェネチアの風景をながめつづけた。」とありますが、この場面についての説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 父は保吉に幻灯を映すよう促したが、保吉はヴェネチアの静かな風景がとても気に入ったので父の発言に答えずにいる。

2 父はヴェネチアの風景の映り具合を気にしたが、保吉は自分が愛する浅草や銀座の風景の映り具合を気にしている。

3 父は他の画を映し出すことを提案したが、保吉は少女がもう一度幻灯の画に現れるのではないかと考えている。

4 父は少女が映っている画が他にないか探そうとしたが、保吉は少女が再び現れることはないと言っている。

## 出題の趣旨

- ・ 文脈の中における語句の意味を理解すること
- ・ 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解すること

### 設問一

#### 趣旨

文脈の中における語句の意味を理解しているかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 C 読むこと

ア 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること。 《語句の意味の理解》

### 1. 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答
③	1 1と解答しているもの	88.4	◎
	2 2と解答しているもの	6.8	
	3 3と解答しているもの	3.7	
	4 4と解答しているもの	0.9	
	99 上記以外の解答	0.0	
	0 無解答	0.2	

### 2. 分析結果と課題

- 解答類型2の反応率は6.8%である。このように解答した生徒は、「掛け価のない一、二秒の間のできごと」を「ずいぶん長い間のできごと」という意味に捉えたものと考えられる。「物事を大げさに言うこと」という問題文にある「掛け価」の意味を基に考えると、「掛け価のない一、二秒の間のできごと」は、大げさに言うわけではないが本当に一、二秒の間のできごとであったことを意味していることが分かる。さらに、傍線部①のすぐ後にある「思わず『おや』と目を見はった時には、少女はもういつの間にか窓の中へ姿を隠したのであろう。」などの内容から、「一、二秒の間のできごと」が「わずかな間のできごと」であったことを意味していることが分かる。

### 3. 学習指導に当たって

#### 一般的な語句の意味を踏まえ、文脈の中における語句の意味を理解する

文学的な文章を読む際には、文脈に即して語句の意味を的確に捉えたり、文章全体における語句の役割を考えたりするように指導することが引き続き大切である。文脈における語句の意味を捉えるということは、その語句の一般的な意味を踏まえ、文脈の中における、具体的、個別的な意味を捉えることである。例えば、本や文章を読んで新しく出合った語句を取り上げ、意味や用法に留意しながらその語句を使った短文を作るなどの学習活動が考えられる。

## 設問二

### 趣旨

場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解しているかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 C 読むこと

ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。

《文章の解釈》

### 1. 解答類型と反応率

問題番号	解 答 類 型		反応率 (%)	正答	
③	二	1	1と解答しているもの	6.6	
		2	2と解答しているもの	3.5	
		3	3と解答しているもの	83.2	◎
		4	4と解答しているもの	6.4	
		99	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.2	

### 2. 分析結果と課題

- 平成27年度全国学力・学習状況調査【小学校】国語A〔6〕では、「登場人物の相互関係を捉えることができるかどうかをみる」問題（正答率 67.7%）に課題が見られた。

これを踏まえて、場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する問題を出題したところ、正答率は83.2%であった。

今回の結果から、登場人物の相互関係を捉え、作品の内容を理解することが身に付いてきていると考えられる。

また、平成29年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A〔6〕では、平成26年度全国学力・学習状況調査【小学校】国語A〔5〕に課題が見られたことを踏まえて、場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する問題を出題したところ、正答率は75.4%であった。これらの結果から、登場人物の相互関係を捉え、作品の内容を理解することについては、昨年度に引き続き、改善の傾向が見られる。

- 解答類型1, 2, 4の反応率の合計は16.5%である。このように解答した生徒は、場面の展開や登場人物の描写に注意して読むことができていない。父は、「さあ、今度は何を映そう？」と、保吉に他の画を映すことを提案しているが、保吉は、「大きいリボンをした少女」がもう一度現れるのではないかと考えていることを適切に捉えられなかったものと考えられる。

### 3. 学習指導に当たって

#### 根拠となる描写を明らかにして、文章を解釈する

文学的な文章を読む際には、目的に応じて場面の展開や登場人物の描写に注意して読むように指導することが引き続き大切である。例えば、文章全体から登場人物の言動が分かる描写を見付け、それらを場面の展開に即して整理し、登場人物の相互関係についてまとめるとともに、登場人物の相互関係からそれぞれの人物像や内面にある深い心情を捉えるなどの学習活動が考えられる。その際、複数の場面や描写を結び付けて文章を解釈し、他の人の解釈と比較するように指導することも有効である。また、文章の理解をより深めるために、考えの根拠となった描写を具体的に示すように指導することが重要である。

指導に当たっては、平成24年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B<sup>3</sup>に係る授業アイデア例「プロの朗読を参考に、『走れメロス』の一場面を工夫して朗読する。」、「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語－3「『蜘蛛の糸』を朗読しよう」も参考になる。

(参照)

「平成24年度【中学校】授業アイデア例」P. 5～P. 6

「平成24年度【中学校】報告書」P. 208～P. 209

「言語活動事例集【中学校版】」P. 23～P. 24

#### ※出典等

・芥川龍之介「少年」（『心に残るロングセラー 芥川龍之介 名作集』平成27年6月 世界文化社）による。







## 1. 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型		反応率 (%)	正答
4	一	1	1と解答しているもの	27.3	
		2	2と解答しているもの	5.9	
		3	3と解答しているもの	3.1	
		4	4と解答しているもの	63.5	◎
		99	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.2	

## 2. 分析結果と課題

- 解答類型1の反応率は27.3%である。このように解答した生徒は、書き加える一文が、日本では緑茶が「生活そのものと深く結び付いた存在である」ことを伝えるための具体例であり、それを加えることによって、「生活そのものと深く結び付いた存在」という内容の説得力を高めることができるということが十分に理解できていない。書き加える一文が段落の中でどのような役割を果たしているかではなく、文中の「家族が集まって食事をしたり、団らんしたりする部屋のこと」と「茶の間」との関係のみに着目して解答したものと考えられる。

## 3. 学習指導に当たって

### 読み手の立場に立って書いた文章を読み返す

自分の考えが読み手に分かりやすく伝わるようにするためには、書いた文章を読み手の立場で読み返し、伝えたい事柄等が十分に書き表されているかどうかを検討するように指導することが大切である。例えば、書いた文章を読み返して、文や段落の接続の関係が適切であるかや、どのような説明や具体例を加えたらよいかを検討するなどの学習活動が考えられる。その際、読み手がその文章を読む意図や目的を意識し、文章を修正することによってどのような効果が生まれるかなどを検討するように指導することも重要である。

### 設問二

#### 趣旨

段落相互の関係に注意し、読みやすく分かりやすい文章にすることができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 B 書くこと

- エ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にすること。 《推敲》

## 1. 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型		反応率 (%)	正答
4	二	1	1と解答しているもの	6.3	
		2	2と解答しているもの	79.8	◎
		3	3と解答しているもの	8.4	
		4	4と解答しているもの	5.2	
		99	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.3	

## 2. 分析結果と課題

- 解答類型3の反応率は8.4%である。このように解答した生徒は、「緑茶は家の中だけでなく屋外でも飲まれることが多くなった」、「和菓子だけでなく、アイスクリームやチョコレートなどの洋菓みに緑茶が使われることも多くなった」、「緑茶を使った商品の種類は年々増えてきていて、日本でもその人気が高まってきている」などを他の人の意見と捉え、**2**段落に書かれた内容が書き手の意見であるということが理解できていないものと考えられる。

## 3. 学習指導に当たって

### 段落相互の関係を考えて、文章を再構成する

分かりやすい文章を書くためには、文章全体における段落の役割を考え、段落相互の関係が適切かどうかを吟味して文章を構成するように指導することが大切である。その際、読み手に自分の意見が明確に伝わるように、意見を述べている段落とそれを支える根拠となる内容を示している段落を文章のどこに位置付けるかを考えるように指導することも重要である。例えば、書いた文章を互いに読み合い、文章の構成について検討したり、必要に応じて文章を再構成したりするなどの学習活動が考えられる。

### ※出典等

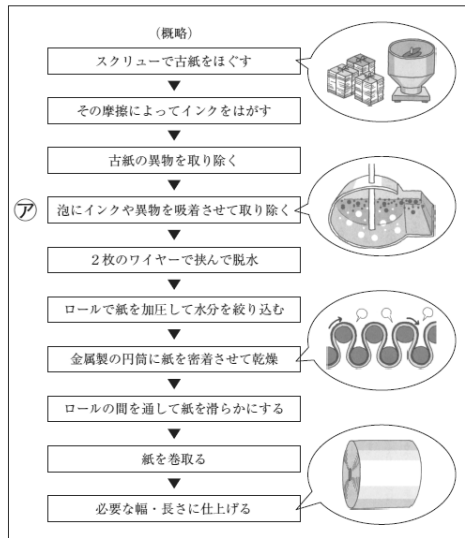
- ・【意見文の下書き】は、財務省ウェブページ、農林水産省ウェブページなどを参考にした。

国語 A 5 説明的な文章を読む

5 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。①から⑧は、段落の番号を表します。

- ① 紙の記録性という点でその代表的なものは、新聞紙でしょう。新聞紙は「新聞巻取紙」とも呼ばれます。そして、この新聞紙は、まさに、優れたもの、といつても過言ではないのです。
- ② 新聞紙で最も求められるのは、「強い」ということです。新聞は輪転機という機械で高速で印刷されます。また、カラー紙面では、印刷機に何度も紙を通しますから、弱い紙では、印刷中に切れてしまいかねません。
- ③ また、もうひとつ、「薄い」ということも求められています。新聞配達システムを考えた場合、配達員にかかる負担は軽いほうがいいにきまつています。しかも、新聞配達システムは、日本の新聞普及の大きな要素になっていますから、軽いということが非常に大切な要素になるわけです。かつて1平方メートル当たり52グラム前後でしたが、現在では約40グラムと、日本の新聞紙はほとんど薄くなつていき、さらに軽い紙の研究が進められています。
- ④ この他にも、新聞紙に求められていることがあります。「文字が透けない」ことです。つまり、「裏が透けない」ことも新聞紙の大切な要素です。文字が透けてしまつては、読みづらくてしょうがありません。
- ⑤ さらに、別の視点から「古紙」利用の推進ということも進められています。これは、環境保護の面から言われていることで、いまでは、新聞紙の原料のうち70〜75%程度は古紙を使っています。1998年（平成10年）には、古紙100%の新聞紙も登場しました。この他、「表面が平ら」であることも必要要素とされています。
- ⑥ そして、このようなきわめて難しい要素を満たしているのは日本の新聞紙だけ、といつても過言ではありません。それだけ、日本人は新聞をよく読んでいる国民といえ、新聞に対するニーズも強く、新聞紙もまた、その要求に応えるために高度な技術を駆使して作られているといえます。その意味で日本の新聞紙というのは、トップクラスの、「ハイテク技術製品」といえるのではないのでしょうか。
- ⑦ 新聞紙の製造工程は、回転するスクリーンで古紙をほぐしながら、摩擦によってインクをはがします（離解工程）。そして、古紙の異物を取り除き（粗選工程）、脱墨工程に入ります。これは、空気を吹き込んで泡をたて、泡にインクや異物を吸着させて取り除くものです。
- ⑧ ここまでが、古紙処理の工程で、次に紙製造工程に入ります。ここでは、まず、噴射された原料を、プラスチック製の網でできた2枚のワイヤーで挟んで脱水します（脱水工程）。そして、ロールとロールで紙を加圧して水分を絞り込み（搾水工程）、蒸気で加圧した金属製の円筒に紙を密着させて乾燥させ（乾燥工程）、仕上げ工程に入ります。ここでは、ロールの間を通して紙を滑らかにし（カレンダー）、紙を巻取ります（リール）。そして、必要な幅・長さ仕上げ（ワインダー）、大きなロールとして出荷します。

【新聞紙の製造工程】



6 段落について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 ①段落から⑤段落までと異なる新たな内容を示し、新聞紙の製造方法の具体的な例について述べている。
  - 2 ①段落で提起された問題への答えとなる情報を示し、新聞紙の活用の具体的な例について述べている。
  - 3 ⑤段落で記された内容を否定し、新聞紙の新たな利用の仕方について自分の考えを述べている。
  - 4 ②段落から⑤段落までの内容をもとに、日本の新聞紙の製造技術について自分の考えを述べている。
- 二 【新聞紙の製造工程】の⑦「泡にインクや異物を吸着させて取り除く」は、どの製造工程に当たりますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。
- 1 離解工程
  - 2 粗選工程
  - 3 脱墨工程
  - 4 脱水工程

## 出題の趣旨

- ・ 段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てること
- ・ 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えること

### 設問一

#### 趣旨

段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てることができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 C 読むこと

イ 文章全体と部分との関係，例示や描写の効果，登場人物の言動の意味などを考え，内容の理解に役立てること。 《文章の解釈》

### 1. 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型	反応率 (%)	正答
5	—	1 1と解答しているもの	8.5	
		2 2と解答しているもの	8.9	
		3 3と解答しているもの	5.3	
		4 4と解答しているもの	76.7	◎
		99 上記以外の解答	0.0	
		0 無解答	0.5	

### 2. 分析結果と課題

- 解答類型1～3の反応率の合計は22.7%である。このように解答した生徒は、文章全体を読み、段落ごとの内容や段落相互の関係を適切に捉えることができていない。1段落では、新聞紙が「まさに“優れもの”」であることを述べ、2段落から5段落では、日本の新聞紙がどのように優れているのかを述べていることや、6段落では、「日本の新聞紙というのは、トップクラスの“ハイテク技術製品”といえる」などと自分の考えを述べていることを適切に捉えられなかったものと考えられる。

### 3. 学習指導に当たって

#### 段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てる

説明的な文章を読む際には、段落ごとの内容を捉えたり、段落相互の関係を正しく押さえたりしながら、文章全体におけるそれぞれの段落の役割を捉えるように指導することが大切である。例えば、目的に応じて説明的な文章を読み、文章中に示されている具体的な例が、書き手の論の展開の中で果たしている役割について考えたり、各段落で述べられている事柄の順序が書き手の考えにどのような説得力をもたらしているかなどについて考えたりしながら文章の内容を理解するなどの学習活動が有効である。

指導に当たっては、平成22年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A<sup>8</sup>に係る授業アイデア例「論理の展開の仕方をもとに、内容をとらえることができるようにする。」も参考になる。

(参照)

「平成22年度【中学校】報告書」P.130

「4年間のまとめ【中学校編】」P.104

## 設問二

### 趣旨

文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 C 読むこと

イ 文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 《文章の解釈》

### 1. 解答類型と反応率

問題番号	解 答 類 型		反応率 (%)	正答	
5	二	1	1と解答しているもの	8.2	
		2	2と解答しているもの	26.4	
		3	3と解答しているもの	60.0	◎
		4	4と解答しているもの	5.1	
		99	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.4	

### 2. 分析結果と課題

○ 解答類型2の反応率は26.4%である。このように解答した生徒は、文章全体を読んだ上で、「古紙の異物を取り除き（粗選工程）」という部分が、図表の「古紙の異物を取り除く」という部分と対応していることを適切に捉えられなかったものと考えられる。また、この文章では、それぞれの工程の説明の後に、「(粗選工程)」のように工程名が示されているが、「脱墨工程」については、「……脱墨工程に入ります。これは、空気を吹き込んで泡をたて、泡にインクや異物を吸着させて取り除くものです。」というように分けて示されている。このような表現上の特徴を捉えることができず、㊦の「泡にインクや異物を吸着させて取り除く」の「異物」という部分と、文章の「古紙の異物を取り除き（粗選工程）」の「異物」という部分とを結び付けて捉えたものとも考えられる。

### 3. 学習指導に当たって

#### 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える

説明的な文章を読む際には、文章の構成や展開に即して情報を整理し、内容を捉えるように指導することが大切である。図表などを伴う文章を読む際には、構成や展開などに留意しながら文章全体を読んだ上で、文章と図表などとを関連させながら書き手の伝えたい内容をよりの確に捉えるように指導することが重要である。例えば、図表が文章のどの部分と関連しているかを確認し、図表の役割について考えたり、文章の内容を捉えるためにどのような図表が必要かを考えたりするなどの学習活動が有効である。

指導に当たっては、平成24年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A<sup>6</sup>二に係る授業アイデア例「目的に応じて必要な情報を読み取ることができるようにする。」、「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語－4「文章と図表との関係を読み解こう」も参考になる。

(参照)

「平成24年度【中学校】授業アイデア例」P. 2

「平成24年度【中学校】報告書」P. 150

「言語活動事例集【中学校版】」P. 25～P. 26

#### ※出典等

・半田伸一監修『おもしろサイエンス 紙の科学』（平成23年10月 日刊工業新聞社）による。

国語A 6 話し合いをする

6 谷さんの学級では、バスの座席の決め方について話し合っています。次は、【話し合いの一部】と司会の谷さんがとっている【メモの一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【話し合いの一部】

谷 この時間は、来月行われる遠足のときに乗るバスの座席の決め方について話し合います。どのように座席を決めればよいかについて意見をを出してください。意見を述べる際には、その方法がよいと考える理由も言ってください。

山下 私はくじ引きがよいと思います。くじ引きは公平で、決めるのに時間がかからないからです。

横井 ふだん一緒に活動しているグループでまともな座席の決め方があると思います。その方が時間がかかりません。

黒川 私は、自分が座りたい場所の希望を出して、重なったら相談して決めればよいと思います。

平野 私はまず、仲のよい人同士でグループを作って、どの辺りにまともな座席のかをくじ引きで決めるのがよいと思います。仲のよい人と近い席だったら、バスの中が明るい雰囲気になります。

中山 平野さんの方法だと、仲のよい人たちが近くの座席になって、学級全体での交流が少なくなってしまうのではないのでしょうか。

横井 中山さんの意見についてですが、バスの中で全員が参加できるレクリエーションを考えれば、交流については問題ないと思います。

高田 バスの中でクイズ大会を行うのはどうでしょうか。クイズなら、学級の全員が楽しめると思います。

谷 レクリエーションについては、するかしないかも含めて、あとで話し合うことにしましょう。他に意見がある人はいますか。

木村 私は、座席を担当の先生に決めてもらうのが一番よいと思うのですが、どうでしょうか。

谷 いろいろな意見が出たので、一度まとめたと思います。その前に確認したいことがあります。黒川さんと木村さんは、

【メモの一部】

〈方法〉	〈理由〉
・山下さん くじ引き	公平 時間がかからない
・横井さん グループごと	時間がかからない
・黒川さん 座りたい場所 重なったら相談	
・平野さん 仲のよい人のグループ 場所はくじ引き	明るくなる
・木村さん 先生が決める	

- 1 話し合いの目的に沿った発言に続き、話の内容を短くまとめて書いている。
- 2 話し合いの目的からそれた発言も取り上げ、全て話したとおり書いている。
- 3 話し合いの目的に沿った発言から、あとで質問したい内容を選んで書いている。
- 4 話し合いの目的からそれた発言も取り上げ、誰の発言かが分かるように書いている。

二 谷さんは、【メモの一部】を見て、黒川さんと木村さんに確認しなければならないことがあることに気がきました。【話し合いの一部】の [ ] で、谷さんはどのような発言をすると思いますか。「黒川さんと木村さんは」に続けて、実際に話すように書きなさい。

## 出題の趣旨

- ・ 話合いの話題や方向を捉えること
- ・ 話合いの話題や方向を捉えて的確に話すこと

### 設問一

#### 趣旨

話合いの話題や方向を捉えることができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

オ 話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり,相手の発言を注意して聞いたりして,自分の考えをまとめること。 《話し合うこと》

### 1. 解答類型と反応率

問題番号	解 答 類 型		反応率 (%)	正答	
6	—	1	1と解答しているもの	72.8	◎
		2	2と解答しているもの	3.7	
		3	3と解答しているもの	3.9	
		4	4と解答しているもの	19.1	
		99	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.5	

### 2. 分析結果と課題

- 解答類型4の反応率は19.1%である。このように解答した生徒は、話合いの目的に沿った発言と目的からそれた発言を整理することができていないものと考えられる。また、話合いの話題や方向を的確に捉えることができず、谷さんのメモの意図が理解できていないものとも考えられる。

### 3. 学習指導に当たって

#### 提案や発言の内容を整理しながら話し合う

話合いをする際には、主体的に話合いに参加するために、何についてどんな目的で話し合っているのかを常に意識して話したり聞いたりするように指導することが大切である。その上で、自分の考えと比較して考えをまとめていくように指導することが重要である。また、提案や発言の内容を必要に応じてメモに整理しながら進めるように指導することも大切である。その際、第2学年〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(2)の「イ 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。」との関連を図り、文字の書き方を工夫するように指導することも有効である。



## 設問二

### 趣旨

話し合いの話題や方向を捉えて的確に話すことができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

オ 話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。 《話し合うこと》

### 1. 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答
⑥	二 (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 黒川さんと木村さんのそれぞれの理由を確認しなければならないことが分かるように書いている。 ② 「黒川さんと木村さんは、」に続けて、実際に話すように適切に書いている。		
	1 条件①, ②を満たして解答しているもの	66.3	◎
	2 条件①を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの	0.1	
	3 条件②を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの	17.7	
	99 上記以外の解答	2.9	
	0 無解答	13.0	

### 2. 分析結果と課題

○ 解答類型3の反応率は17.7%である。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ (黒川さんと木村さんは,) どう思いますか (。)
- ・ (黒川さんと木村さんは,) 確認しなければならないことがあります (。)

このように解答した生徒は、司会である谷さんの「意見を述べる際には、その方法がよいと考える理由も言ってください。」という発言に着目することができていなかったり、黒川さんと木村さんの発言に理由が不足していることを捉えることができていなかったりするものと考えられる。また、黒川さんと木村さんの発言に理由が不足していることは捉えられてはいるが、相手に伝わるように表現することができていないものとも考えられる。

### 3. 学習指導に当たって

#### 話合いの話題や方向を捉えて話し合う

話合いをする際には、司会や議長の立場で直接話合いを進行していく場合はもとより、それ以外の立場で参加する場合にも、話合いが課題の解決に向かうように進め方を提案したり、話合いが効率よく進むように協力したりするように指導することが大切である。その際、話合いの目的、話題や方向を的確に捉えて話したり聞いたりするように指導することが重要である。例えば、話合いの様子を動画で記録し、それぞれの立場における発言の意図や効果について考えるなどの学習活動が有効である。

指導に当たっては、平成24年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B<sup>1</sup>三に係る授業アイデア例「対談を読んで考えたことを基に座談会を行う。」、平成25年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A<sup>1</sup>二に係る授業アイデア例「話合いの動画を見ながら、司会の役割を話し合う」も参考になる。

(参照)

「平成24年度【中学校】授業アイデア例」P. 3～P. 4

「平成24年度【中学校】報告書」P. 188～P. 189

「平成25年度【中学校】授業アイデア例」P. 7

## 国語A 7 ニュースを見る

- 1 前に述べたことを受けて自分の意見につなぐ働き。
- 2 前に述べたことを切り替えて次の話題につなぐ働き。
- 3 前に述べたことは反対のことにつなぐ働き。
- 4 前に述べたことを言い換える言葉につなぐ働き。

二 高橋さんは、「天気予報」の——線部②「それでは」がどのような働きをしているのかについて考えています。——線部②「それでは」の働きとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

### 【電子辞書】

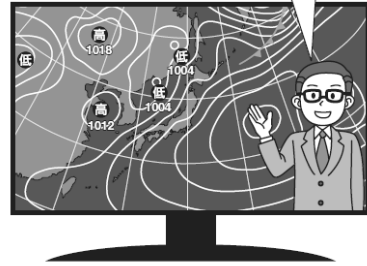
はないかだ【花筏】〔名〕

- ① ミズキ科に属する落葉低木の名前。葉の真ん中に花が咲く。
- ② 紋所もんじろの名。いかだに花を取り合わせた図柄のもの。
- ③ 散った桜の花びらが水面に浮き、連なって流れていく様子。
- ④ 白粉のつきや伸びをよくするために用いる油性香料の名。

一 高橋さんは、「天気予報」の——線部①「ハナイカダ」という言葉を読み、どのようなものを電子辞書で調べています。——線部①「ハナイカダ」の意味として最も適切なものを、次の【電子辞書】の①から④までの中から一つ選びなさい。

### 【天気予報】

こんばんは。春らしい陽気が続く中、桜の開花に合わせてお花見をする人が増えていますが、今夜は所により強い風が吹くことが予想されます。そのため、明日は場所によってはハナイカダが見られるでしょう。① それでは、② 各地の天気をお伝えします。



7 次は、高橋さんが見ているテレビの【天気予報】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

## 出題の趣旨

- ・ 語句の辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味を捉えること
- ・ 接続詞の働きについて理解すること

### 設問一

#### 趣旨

語句の辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味を捉えることができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

- (イ) 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨くこと。

## 1. 解答類型と反応率

問題番号	解 答 類 型		反応率 (%)	正答	
7	一	1	①と解答しているもの	6.3	
		2	②と解答しているもの	4.2	
		3	③と解答しているもの	87.5	◎
		4	④と解答しているもの	1.3	
		99	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.6	

## 2. 分析結果と課題

- 解答類型1, 2, 4の反応率の合計は11.8%である。このように解答した生徒は、【天気予報】の内容にある「桜の開花」、「強い風が吹く」、「そのため、……が見られるでしょう。」などの部分と、【電子辞書】の③にある「散った桜の花びらが水面に浮き、連なって流れていく」とを結び付けて考えることができなかつたものと考えられる。

## 3. 学習指導に当たって

### 多様な語句に関心をもつ指導の工夫

一つの言葉でも複数の意味をもつものがある。その意味については、国語辞典を用いて調べる学習活動などを通して、語句の辞書的な意味を踏まえ、思考力や想像力を働かせて文脈において具体的かつ個別的に捉えるように指導することが引き続き大切である。例えば、本などを読んで新しく出合った言葉を取り上げ、辞書にある様々な意味から文脈上の意味を考えてノートに整理するなどの学習活動が考えられる。また、身の回りにある多様な語句に関心を持ち、場面や文脈においてその言葉がどのような意味で使われているのかを考える習慣を付けるように指導することも重要である。

## 設問二

### 趣旨

接続詞の働きについて理解しているかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

- (エ) 単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意すること。

## 1. 解答類型と反応率

問題番号	解 答 類 型		反応率 (%)	正答	
7	二	1	1と解答しているもの	3.4	
		2	2と解答しているもの	88.7	◎
		3	3と解答しているもの	2.2	
		4	4と解答しているもの	4.8	
		99	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.9	

## 2. 分析結果と課題

- 解答類型1, 3, 4の反応率の合計は10.4%である。このように解答した生徒は、「それでは」という接続詞が話題を転換する働きをしていることを文章と結び付けて適切に捉えられなかったものと考えられる。

## 3. 学習指導に当たって

### 指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などについての理解を深める

指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などについての理解を深めるためには、単に文法的な知識として学習するだけでなく、実際の話や文章の中で捉えるように指導することが引き続き大切である。その際、「読むこと」の学習や他教科等の学習との関連を図り、指示語や接続詞などの知識が、文章を読む際などに役立つことが実感できるように指導することが効果的である。

指導に当たっては、平成27年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A<sup>9</sup>四に係る授業アイデア例「写真にキャプションを付けよう」も参考になる。

(参照)

「平成27年度【中学校】授業アイデア例」P. 4

### ※出典等

- ・【天気予報】は、気象庁ウェブページなどを参考にした。

国語 A 8 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

8 次の中から六までの各問いに答えなさい。

一 次の1から3までの文中の――線部のカタカナを漢字に直し、楷書でいねいに書きなさい。

- 1 紙をひもで**タバ**ねる。
- 2 舞台の**マク**が上がる。
- 3 先制点を**ユル**す。

二 次の1から3までの文中の――線部の漢字の正しい読みをひらがなでいねいに書きなさい。

- 1 模型を作る。
- 2 池の水が**渾**る。
- 3 技を**磨**く。

三 次のアからキの文では、( ) の中の1から4までのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つ選びなさい。

- ア 立場の異なる両者の主張は(1 臨機応変 2 終始一貫 3 先手必勝 4 共存共栄) して変わらず、最後まで結論が出なかった。
- イ 魚の中には群れを作って泳ぐ(1 習性 2 修正 3 集成 4 終成) をもつものがある。
- ウ 先生が私たちに大切なことを(1 申し上げた 2 申した 3 お言いた 4 おっしゃった)。
- エ 彼は(1 水気 2 せき 3 紙 4 くう) を切ったように話し始めた。
- オ 意見の折り合いを(1 たてる 2 かける 3 つける 4 なする)。
- カ わたしが健康になったのは、(1 ひとえに 2 ほのかに 3 いちずに 4 むやみに) 母のおかげです。
- キ 姉はみんなと一緒に運動することが好きだ。(1 もしくは 2 いわば 3 要するに 4 一方、妹は一人で本を読むことが好きだ)。

四 次の各問いに答えなさい。

1 次の言葉の意味として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

心を打たれる

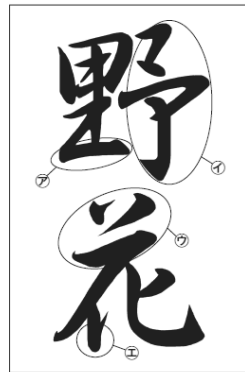
- 1 遠慮する。
- 2 感動する。
- 3 一つのこと集中する。
- 4 あれこれと心配する。

2 「心を打たれた。」を文末に用いた一文を書きなさい。なお「心を打たれた」の主語を明らかにした上で、「誰(何)の」というようなこと、「心を打たれた」のかが分かるように書くこと。

五 書写の時間に、行書で「野花」という文字を書いた松田さんは、「作品」をよりよくするためにグループで助言し合っています。

この「作品」への助言として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

【作品】



- 1 ②の部分は筆脈を意識して、次の画へのつながりが分かるように書きましょう。
- 2 ④の部分は文字の全体大きさに気を付けて、偏よりも小さく書きましょう。
- 3 ⑦の部分は点画を省略せずに、楷書で書くときの筆順どおりに横画を最初に書きましょう。
- 4 ⑩の部分は左下に向けて払い、次の字につながるように書きましょう。

六次は、中国の「韓非子」という本にある話【A】と、その現代語訳【B】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【A】

楚<sup>そ</sup>人に、盾と矛とをひさく者あり。これをほめていはく、「わが盾の堅きこと、よくとほすものなし。」と。またその矛をほめていはく、「わが矛の利きこと、物においてとほさざるなし。」と。ある人いはく、「子の矛をもつて、子の盾をとほさばいかん。」と。その人、こたふることあたはばりき。

〔竹内照天〕『新編漢文大系 第12巻 韓非子（下）による。』

【B】

楚の国の人で、盾と矛とを売る者がいた。その盾をほめて言うには、「わたしの盾の堅いことと云ったら、突き通せるものはない。」と。また、その矛をほめて言うには、「わたしの矛の鋭いことと云ったら、どんなものでも突き通さないことはない。」と。ある人が言うには、「あなたの矛で、あなたの盾を突き通したらどうなるか。」と。その人は答えることができなかった。

1 ―線部「いはく」の意味を【B】の中から抜き出さなさい。

2 〰〰〰線部「とほさざるなし」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

3 【A】の話から、つじつまが合わないという意味の「矛盾」という言葉が生まれました。この話の中で矛盾していることとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 楚の国の人、矛の鋭さと盾の堅さという長所を示しているのに、ある人は矛と盾の短所について質問したこと。

2 楚の国の人、自分が持ってきた盾の堅さをほめているのに、ある人は楚の国の人を持っている矛の鋭さをほめたこと。

3 楚の国の人、矛と盾という異なる使用目的をもった道具を売るために、それぞれの材料について説明したこと。

4 楚の国の人、自分が売っている盾と矛について、何も突き通させない盾とどのようなものも突き通せる矛だと言ったこと。

## 出題の趣旨

- ・ 文脈に即して漢字を正しく書くこと
- ・ 文脈に即して漢字を正しく読むこと
- ・ 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと
- ・ 慣用句の意味を理解すること
- ・ 目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くこと
- ・ 行書の基礎的な書き方を理解して書くこと
- ・ 古典の文章と現代語訳とを対応させて内容を捉えること
- ・ 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと
- ・ 古典に表れたものの見方や考え方を理解すること

### 設問一

#### 趣旨

文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ウ

(イ) 学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。

### 1. 解答類型と反応率

問題番号	解 答 類 型			反応率 (%)	正答
8	1	1	「束(ねる)」と解答しているもの	79.5	◎
		99	上記以外の解答	7.6	
		0	無解答	12.9	
	2	1	「幕」と解答しているもの	73.4	◎
		99	上記以外の解答	12.5	
		0	無解答	14.1	
	3	1	「許(す)」と解答しているもの	71.9	◎
		99	上記以外の解答	9.1	
		0	無解答	19.0	

### 2. 分析結果と課題

- 1の解答類型99の反応率は7.6%である。「帯」,「重」などという誤答が見られた。
- 2の解答類型99の反応率は12.5%である。「膜」,「舞」などという誤答が見られた。
- 3の解答類型99の反応率は9.1%である。「詐」,「優」などという誤答が見られた。



## 設問二

### 趣旨

文脈に即して漢字を正しく読むことができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ウ

(ア) 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。

### 1. 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型	反応率 (%)	正答
⑧	二 1	1 「もけい」と解答しているもの	95.9	◎
		2 「もけい」のうち「も」だけ正しく解答しているもの	1.2	
		3 「もけい」のうち「けい」だけ正しく解答しているもの	0.3	
		99 上記以外の解答	0.8	
		0 無解答	1.8	
	二 2	1 「こお(る)」と解答しているもの	97.9	◎
		99 上記以外の解答	1.2	
		0 無解答	0.9	
	二 3	1 「みが(く)」と解答しているもの	98.2	◎
		99 上記以外の解答	0.8	
		0 無解答	1.0	

### 2. 分析結果と課題

- 1の解答類型2の反応率は1.2%である。「もがた」、「もはん」などという誤答が見られた。解答類型3の反応率は0.3%である。「もっけい」、「ぼけい」などという誤答が見られた。解答類型99の反応率は0.8%である。「まくがた」、「きがた」などという誤答が見られた。
- 2の解答類型99の反応率は1.2%である。「は(る)」、「とどこお(る)」などという誤答が見られた。
- 3の解答類型99の反応率は0.8%である。「ま(く)」、「まね(く)」などという誤答が見られた。

### 3. 学習指導に当たって

#### 日常的な漢字の学習（書く・読む）（対応設問：設問一・二）

漢字の指導においては、字体、字形、音訓、意味や用法などの知識を習得し、文脈に即して漢字を読んだり書いたりすることができるように指導することが大切である。また、日常の学習や生活の中でも、必要に応じて辞書などを活用して漢字の意味や用法を確認し、漢字を正しく読んだり書いたりする態度と習慣を養うことが重要である。その際、第1学年〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(2)の「ア 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。」との関連を図り、字体や点画等に注意し、楷書で正しく整った文字を書くように指導することも有効である。

指導に当たっては、平成21年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A<sup>8</sup>に係る授業アイデア例「定着しにくい漢字や間違いやすい漢字について、意識をもって読み書きできるようにする。」「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語-10「これで納得！私たちが身に付けるべき常用漢字」、平成25年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B<sup>3</sup>「漢字の特徴を捉えて、自分の考えを具体的に書くことができるかどうかをみる。」も参考になる。

(参照)

「平成21年度【中学校】報告書」P. 195

「4年間のまとめ【中学校編】」P. 111

「言語活動事例集【中学校版】」P. 37～P. 38

#### 設問三

##### 趣旨

語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(ウ) 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつこと。

〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(エ) 単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意すること。

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(ア) 話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解すること。

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(イ) 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。

# 1. 解答類型と反応率

問題番号	解 答 類 型		反応率 (%)	正答	
8	三 ア	1	1と解答しているもの	6.1	
		2	2と解答しているもの	78.1	◎
		3	3と解答しているもの	4.2	
		4	4と解答しているもの	10.7	
		99	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.8	
	三 イ	1	1と解答しているもの	91.2	◎
		2	2と解答しているもの	1.5	
		3	3と解答しているもの	6.2	
		4	4と解答しているもの	0.6	
		99	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.5	
	三 ウ	1	1と解答しているもの	7.5	
		2	2と解答しているもの	2.6	
		3	3と解答しているもの	0.9	
		4	4と解答しているもの	88.3	◎
		99	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.6	
	三 エ	1	1と解答しているもの	22.2	
		2	2と解答しているもの	29.5	◎
		3	3と解答しているもの	10.0	
4		4と解答しているもの	37.3		
99		上記以外の解答	0.0		
0		無解答	0.9		
三 オ	1	1と解答しているもの	24.0		
	2	2と解答しているもの	9.4		
	3	3と解答しているもの	62.4	◎	
	4	4と解答しているもの	3.3		
	99	上記以外の解答	0.0		
	0	無解答	0.9		
三 カ	1	1と解答しているもの	65.8	◎	
	2	2と解答しているもの	7.7		
	3	3と解答しているもの	24.5		
	4	4と解答しているもの	1.0		
	99	上記以外の解答	0.0		
	0	無解答	1.0		
三 キ	1	1と解答しているもの	2.2		
	2	2と解答しているもの	0.8		
	3	3と解答しているもの	0.8		
	4	4と解答しているもの	95.3	◎	
	99	上記以外の解答	0.0		
	0	無解答	1.0		

## 2. 分析結果と課題

- **ア**の解答類型4の反応率は10.7%である。このように解答した生徒は、「終始一貫」という言葉になじみがなく、意味が理解できていないものと考えられる。また、「共存共栄」の意味や用法を正しく捉え、文脈に即して適切に使うことに課題がある。
- **イ**の解答類型3の反応率は6.2%である。このように解答した生徒は、「習性」という言葉になじみがなく、意味が理解できていないものと考えられる。また、「集成」の意味や用法を正しく捉え、文脈に即して適切に使うことに課題がある。
- **ウ**の解答類型1の反応率は7.5%である。このように解答した生徒は、尊敬語と謙譲語の働きや使い方について理解できていないものと考えられる。
- **エ**の解答類型1の反応率は22.2%、解答類型3の反応率は10.0%、解答類型4の反応率は37.3%である。このように解答した生徒は、「せきを切る」という言葉になじみがなく、意味が理解できていないものと考えられる。また、「くうを切る」の意味や用法を正しく捉え、文脈に即して適切に使ったり、「水気を切る」、「紙を切る」という表現の意味を踏まえて適切に使ったりすることに課題がある。
- **オ**の解答類型1の反応率は24.0%である。このように解答した生徒は、「折り合いをつける」という言葉になじみがなく、意味が理解できていないものと考えられる。
- **カ**については、平成22年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A $\boxed{10}$ 三ウ（正答率64.5%）と同一の問題とした。  
解答類型3の反応率は24.5%である。このように解答した生徒は、「ひとえに」という言葉になじみがなく、意味が理解できていないものと考えられる。また、「いちずに」の意味や用法を正しく捉え、文脈に即して適切に使うことに課題がある。
- **キ**の解答類型1～3の反応率の合計は3.8%である。このように解答した生徒は、「一方」という言葉になじみがなく、意味が理解できていないものと考えられる。

### 3. 学習指導に当たって

#### 場面に即した語句を活用する指導の工夫

語感を磨き語彙を豊かにするためには、語句の意味を辞書や資料集などを用いて確認するだけでなく、話や文章の中で実際に使用するよう指導することが大切である。その際、取り上げようとする語句について他に適切な表現がないかを考えたり、複数の語句を比べてどれが最もふさわしい表現かを検討したりすることも効果的である。同音異義語については、読み方だけでなく、漢字一字一字の意味を確認しながら熟語の意味について考えることが大切である。場面に即した語句を選択し、活用することができるようになるためには、例えば、以下のような学習活動が考えられる。

- ・気になった語句をノートに書き留め、その語句を使った短文を作ったり、話や文章の中で使ったりする。
- ・文学的な文章の学習で、登場人物の人物像などを四字熟語や慣用句を用いて表す。

指導に当たっては、平成21年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A<sup>8</sup>Ⅲに係る授業アイデア例「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができるようにする。」、平成24年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A<sup>7</sup>Ⅲに係る授業アイデア例「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができるようにする。」、平成26年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A<sup>8</sup>Ⅲに係る授業アイデア例「言葉を集め、言葉カレンダーを作ろう」、平成29年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A<sup>9</sup>Ⅴに係る授業アイデア例「自分が使ってみたい語句についてスピーチをする」も参考になる。

(参照)

- 「平成21年度【中学校】授業アイデア例」P. 2
- 「平成21年度【中学校】報告書」P. 200
- 「4年間のまとめ【中学校編】」P. 110
- 「平成24年度【中学校】報告書」P. 162
- 「平成26年度【中学校】授業アイデア例」P. 8
- 「平成29年度【中学校】授業アイデア例」P. 4

#### 言語感覚を豊かにする指導の充実

国語を学習するには、言語に対する知的な認識を深めるだけでなく、言語に対する感覚を豊かなものにしていくことが大切であり、そのことが、一人一人の生徒の言語生活や言語活動を充実させ、ものの見方や考え方を一層個性的にすることに役立つ。

そのためには、多様な場面や状況における学習の積み重ねや、継続的な読書の時間などが必要であり、国語科の学習を他教科等の学習や学校教育全体に関連させていくように工夫することも大切である。さらに、教師が意図的、計画的に多様な言葉を用いて話したり、掲示物や配付物に取り入れたりするなど、言語環境を整えることも、言語感覚の育成には重要である。

**設問四 1****趣旨**

慣用句の意味を理解しているかどうかをみる。

**■学習指導要領における領域・内容**

〔小学校第3学年及び第4学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ア

(イ) 長い間使われてきたことわざや慣用句，故事成語などの意味を知り，使うこと。

**1. 解答類型と反応率**

問題番号	解 答 類 型		反応率 (%)	正答	
8	四 1	1	1と解答しているもの	1.0	
		2	2と解答しているもの	94.8	◎
		3	3と解答しているもの	2.5	
		4	4と解答しているもの	0.9	
		99	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.8	

**2. 分析結果と課題**

- 本設問は，平成30年度全国学力・学習状況調査【小学校】国語A6との関連を図った問題である。これまでの全国学力・学習状況調査【中学校】においては，慣用句の理解に一部課題があったが，平成30年度全国学力・学習状況調査【小学校】国語A6（正答率 90.5%）及び本設問の結果から，小学校段階で定着が図られている慣用句については，中学校段階でも継続して身に付いているものと考えられる。

**3. 学習指導に当たって****慣用句の意味を理解して使う**

語彙を豊かにする学習においては，意味を理解している語句を増やすだけでなく，実際の場面で使用することができるように指導することが引き続き大切である。例えば，自分が着目したことわざや慣用句について，その意味とともに，実際に使用する場面の例を示しながら，互いに紹介し合うなどの学習活動が考えられる。

**設問四 2****趣旨**

目的に応じて文の成分の順序や照応，構成を考えて適切な文を書くことができるかどうかをみる。

**■学習指導要領における領域・内容**

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(ウ) 文の中の文の成分の順序や照応，文の構成などについて考えること。

## 1. 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答	
8	四 2	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 「心を打たれた」の正しい意味を理解して書いている。 * 条件①は、設問四1で正答しているかどうかで判断する。 ② 「心を打たれた」の主語を明確にして書いている。 ③ 「誰(何)」のことに「心を打たれた」のかが分かるように書いている。 ④ 「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書いている。 ⑤ 一文で書いている。		
	1	条件①, ②, ③, ④, ⑤を満たして解答しているもの	22.8	◎
	2	条件①, ②, ③, ④を満たし, 条件⑤を満たさないで解答しているもの	0.1	
	3	条件①, ②, ③, ⑤を満たし, 条件④を満たさないで解答しているもの	0.8	
	4	条件①, ②, ④, ⑤を満たし, 条件③を満たさないで解答しているもの	1.1	
	5	条件①, ③, ④, ⑤を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの	63.3	
	6	条件②, ③, ④, ⑤を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの	0.6	
	99	上記以外の解答	5.0	
	0	無解答	6.4	

## 2. 分析結果と課題

○ 平成27年度全国学力・学習状況調査【小学校】国語A[2]—では、「文の中における主語を捉えることができるかどうかをみる」問題（正答率 53.4%）に課題が見られた。

これを踏まえて、目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く問題を出题したところ、正答率は22.8%であった。

今回の結果から、文の中における主語を捉えたり、主語を明示しながら適切に表現したりすることに引き続き課題があると考えられる。

○ 解答類型5の反応率は63.3%である。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ 親友の勇気ある行動に（心を打たれた。）
- ・ 映画の最後のシーンに（心を打たれた。）
- ・ ピアノを上手に演奏している彼に（心を打たれた。）
- ・ サッカーの試合で、最後まで諦めずにプレーする選手たちに（心を打たれた。）

このように解答した生徒は、「心を打たれる」という言葉の意味が理解できており、「誰(何)」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書くことはできているが、主語と述語の照応の理解については課題がある。



### 3. 学習指導に当たって

#### 文の成分の順序や照応に注意して書く

文を書く際には、文の成分の順序や主語と述語の照応などを整え、伝えたいことが相手に適切に伝わるように書くことができているかを常に吟味するように指導することが大切である。例えば、心の動きや、身の回りの様々な物事などについて具体的な内容を盛り込んだ文を書き、伝えたいことを適切に表現するための語順や語の照応について検討するなどの学習活動が考えられる。また、「書くこと」の学習との関連を図り、推敲の際の観点の一つとして取り入れることも効果的である。

指導に当たっては、平成21年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A<sup>1</sup>に係る授業アイデア例「推敲の観点に基づいて、推敲の仕方を身に付けることができるようにする。」も参考になる。

(参照)

「平成21年度【中学校】授業アイデア例」P. 1

「平成21年度【中学校】報告書」P. 169

#### 設問五

#### 趣旨

行書の基礎的な書き方を理解して書くことができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(2)

イ 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。

#### 1. 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答		
⑧	五	1	1と解答しているもの	54.6	◎
	2	2と解答しているもの	18.3		
	3	3と解答しているもの	15.3		
	4	4と解答しているもの	10.5		
	99	上記以外の解答	0.0		
	0	無解答	1.2		

#### 2. 分析結果と課題

- 解答類型2の反応率は18.3%である。このように解答した生徒は、【作品】の「野」について、文字全体の偏と傍のバランスを適切に捉えることができていないものと考えられる。
- 解答類型3の反応率は15.3%である。このように解答した生徒は、㊦の「くさかんむり」の部分について、点画の省略がないことや、筆順を変えて次の画につなげて書いていることが理解できていないものと考えられる。
- 解答類型4の反応率は10.5%である。このように解答した生徒は、右上の次の画へのつながりを意識して㊦の部分を書いていることが理解できていないものと考えられる。



### 3. 学習指導に当たって

#### 毛筆を使用した行書の指導の工夫

中学校では社会生活に役立つ書写の能力を養うため、楷書よりも速く書くことのできる行書の基礎的な書き方を身に付けさせる必要がある。その際、点や画の形が丸みを帯びる場合があること、点や画の方向及び止めや払いの形が変わる場合があること、点や画が連続したり省略されたりする場合があること、筆順が変わる場合があることなどが行書の特徴であることを踏まえて書くように指導することが大切である。また、字形の整え方、運筆の際の筆圧のかけ方、点画のつながりなどを身に付けさせるために、毛筆の活用に配慮する必要がある。さらに、どのようにすれば行書の特徴を生かした書き方ができるのかを考えたり、行書の使用がどのような場面で有効であるかを考えたりするような主体的な学習がなされるように配慮することも重要である。

指導に当たっては、平成22年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A10七に係る授業アイデア例「漢字の楷書と行書との違いを理解することができるようにする。」も参考になる。  
(参照)

「平成22年度【中学校】報告書」P.149

#### 設問六 1

##### 趣旨

古典の文章と現代語訳とを対応させて内容を捉えることができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ア

(イ) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。

#### 1. 解答類型と反応率

問題番号	解 答 類 型		反応率 (%)	正答
8	六 1	1 「言うには」と解答しているもの * 「言う」、「言うに」と解答しているものも正答とする。	91.3	◎
		2 「いはく」を現代仮名遣いに直して解答しているもの	0.3	
		99 上記以外の解答	3.5	
		0 無解答	5.0	

#### 2. 分析結果と課題

- 解答類型2の反応率は0.3%である。このように解答した生徒は、現代語訳を書くことと、現代仮名遣いに直すこととを混同している。

### 3. 学習指導に当たって

#### 現代語訳や語注などを手掛かりにして古典を読む

現代語訳や語注などを手掛かりにして古典を読む際には、言葉のまとまりや意味に留意しながら内容を捉えることができるように指導することが引き続き大切である。例えば、古典の易しい現代語訳を読んで内容を概括した上で、古典を読むなどの学習活動が考えられる。

指導に当たっては、平成21年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A<sup>8</sup>五2に係る授業アイデア例「様々な方法を用いて、古典の内容を大まかにとらえることができるようにする。」も参考になる。

(参照)

「平成21年度【中学校】報告書」P.204

## 設問六 2

### 趣旨

歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ア

(ア) 文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れること。

### 1. 解答類型と反応率

問題番号	解 答 類 型		反応率 (%)	正答
8	六 2	1 「とおさざるなし」と解答しているもの	63.4	◎
		2 「とほさざるなし」の意味を解答しているもの	13.1	
		99 上記以外の解答	16.2	
		0 無解答	7.2	

### 2. 分析結果と課題

- 解答類型2の反応率は13.1%である。このように解答した生徒は、現代語訳を書くことと、現代仮名遣いに直すこととを混同している。
- 設問六1で正答した生徒のうち、設問六2で解答類型2であった生徒は全体の12.7%である。このように解答した生徒は、現代仮名遣いに直すことを現代語訳を書くことと捉えていたり、現代仮名遣いに直すということがどのようなことなのかを理解していなかったりするものと考えられる。また、設問六1と設問六2ともに解答類型1であった生徒は全体の61.9%である。

### 3. 学習指導に当たって

#### 文語のきまりについて理解する

文語のきまりについては、言葉の意味を考えながら音読したり、音読を聞いたりすることを通して古典特有のリズムを味わいながら理解するように指導することが大切である。

**設問六 3****趣旨**

古典に表れたものの見方や考え方を理解しているかどうかをみる。

**■学習指導要領における領域・内容**

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ア

(イ) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。

**1. 解答類型と反応率**

問題番号	解 答 類 型		反応率 (%)	正答	
8	六 3	1	1と解答しているもの	4.6	
		2	2と解答しているもの	7.7	
		3	3と解答しているもの	4.0	
		4	4と解答しているもの	81.6	◎
		99	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	2.1	

**2. 分析結果と課題**

- 解答類型1～3の反応率の合計は16.3%である。このように解答した生徒は、「楚の国の人」と「ある人」の言葉や行動を整理して考えることができているものと考えられる。

**3. 学習指導に当たって****古典に表れたものの見方や考え方を知る**

古典の学習の際には、古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像することができるように指導することが引き続き大切である。例えば、古典の文章と現代語訳とを併せて読んで内容を理解したり、古典の文章とともに示されている解説文などを手掛かりにして内容を理解したりするなどの学習活動が考えられる。その際、登場人物や作者の思いなどを豊かに想像することを通して、文章を貫くものの見方や考え方に触れることがあることを踏まえ、教材とする文章の特徴を生かしながら指導を工夫することが重要である。

**※出典等**

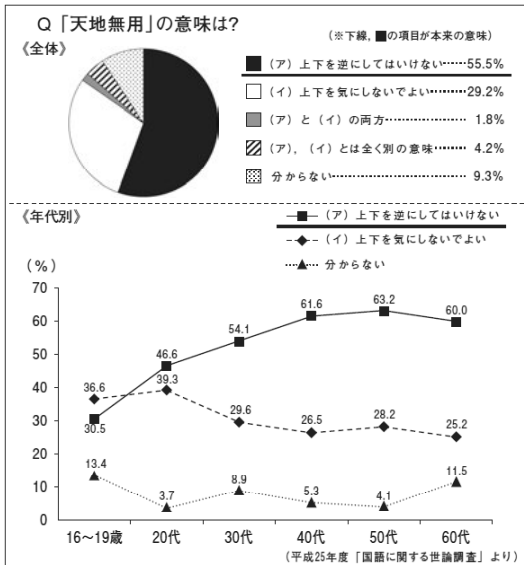
・六の【A】は、竹内照夫『新釈漢文大系 第12巻 韓非子（下）』（昭和39年5月 明治書院）による。

### 3. 教科に関する調査の各問題の分析結果と課題

#### (3) 中学校 国語B

# 国語B 1 説明的な文章を読む

【資料】



全体では、本来の意味である(ア)「上下を逆にしてはいけない」を選んだ人の割合(55.5%)が、本来の意味ではない(イ)「上下を気にしないでよい」を選んだ人の割合(29.2%)を26ポイント上回っています。また、「分からない」と回答した人が1割弱となっています。

年齢別に見ると、16~19歳を除く全ての年代で(ア)の割合が高いものの、最も低い60代でも25.2%の人が(イ)を選んでおり、どの年代でも4人に1人以上の割合で、本来とは逆の意味で考えていることが読み取れます。

「天地無用」は、本来、誤解があってはならない注意喚起の言葉ですから、見過ごせない結果であるといえるかもしれません。

「天地無用」は、「荷物の上下を逆にしてはいけない」という意味です。段ボール箱の荷物などに、赤地に白抜きで「天地無用」と書かれたシールが貼られていることがあります。しかし、それだけでは意味が分からない人が少なからずいるからでしょうか、最近では、記号やイラストを用いて視覚に訴えたり、「UP」「この面を上」などといった情報を書き足したりして、より分かりやすく示すとする例が多くなっています。

平成25年度の「国語に関する世論調査」で、「天地無用の荷物」という例文を挙げて、その意味を尋ねました。結果は次のとおりです。

「日本国語大辞典 第2版」(平成12年・小学館)では、「天地無用」は「荷物、貨物などの包装の外側に記す語で、破損の恐れがあるため上下をさかさまにして取り扱ってはならない」という意味の注意。

「広辞苑 第6版」(平成20年・岩波書店)では、「天地無用」とは本来どのような意味か、辞書で調べてみましょう。

「枕詞」(平家物語)「天地無用」は、「心配御」(心配)と「立入り」(立入)、「天地」(上下)を逆にしてはならないこと。いらないこと。「心配御」②してはならないこと。「立入り」③「天地」(上下)を逆にしてはならないこと。注意。③用事が無いこと。「の者、入るべからず」

②の例にあるように「天地無用」の「無用」は「してはならないこと」という意味です。かつて、アニメ番組「ドラえもん」の主題歌の中に「落書き無用」という言葉がありました。これは「落書きをしてはならない」という意味で、「天地無用」も同じ使い方です。

このように「無用」の用法は、かつては注意書きなどによく見られました。しかし、現在は「落書き禁止」「立入禁止」など、「禁止」という言葉を用いたり、もっと丁寧に「……しないでください」「……は御遠慮ください」などと書かれたりするようになっていきます。そのために、「無用」という言葉に「してはならないこと」という意味での使い方が減ること自体、分りにくくなっているのかもしれない。

また、「無用」の意味が「してはならないこと」であることが分かっていても、「天地してはならない」では、意味が通じません。「天地無用」は、「天地を逆にする」というように、傍線部に当たる内容が省略された言い方になっているのです。字面だけを見ても、そのことは分かりませんが、本来の意味で読み取るのは難しいでしょう。

「落書き」や「立入り」とは違って、「天地」という言葉自体には「してはならない」というような内容がありません。「逆にする」という省略部分に気づかなければ、「無用」の意味は「役に立たないこと、いらないこと」や「用事が無いこと」に取られかねないのです。その結果、「天地はいらない」「上下は気にしないでいい」「天地に用事はない」「天地は関係ない」などと解釈されることになりやすと考えられます。

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

では「天地無用」を「上下を気にしないでよい」という意味で受け取る人が多いのは、どのような理由があるのでしょうか。その前提として、「無用」の意味を調べてみましょう。

【岩波国語辞典 第7版新版】(平成22年・岩波書店)

「天地無用」は「してはならないこと」であることが分かっていても、「天地してはならない」では、意味が通じません。「天地無用」は、「天地を逆にする」というように、傍線部に当たる内容が省略された言い方になっているのです。字面だけを見ても、そのことは分かりませんが、本来の意味で読み取るのは難しいでしょう。

「落書き」や「立入り」とは違って、「天地」という言葉自体には「してはならない」というような内容がありません。「逆にする」という省略部分に気づかなければ、「無用」の意味は「役に立たないこと、いらないこと」や「用事が無いこと」に取られかねないのです。その結果、「天地はいらない」「上下は気にしないでいい」「天地に用事はない」「天地は関係ない」などと解釈されることになりやすと考えられます。

【資料】の「年代別」の「(イ)上下を気にしないでよい」のグラフから分かることについて、文章中ではどのように説明されていますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 線部①「本来の意味ではない(イ)「上下を気にしないでよい」を選んだ人の割合(29.2%)」
- 線部②「分からない」と回答した人が1割弱
- 線部③「どの年代でも4人以上の割合で、本来とは逆の意味で考えている」
- 線部④「反対の意味だと考えている人と意味が分からないという人を合わせると4割近い」

(文化庁国語課「文化庁国語課の働いてほしい日本語」による)

二 この文章では、複数の辞書から「天地無用」の意味が引用されていますが、その効果について説明したものと最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 複数の辞書の記述を取り上げることで、「天地無用」の本来の意味について納得できるようにしている。

2 発行年の異なる辞書の記述を並べることで、「天地無用」の本来の意味の移り変わりが分かるようにしている。

3 複数の辞書の記述を比較することで、「天地無用」の本来の意味が複数あることに着目できるようにしている。

4 一つの辞書の記述に別の辞書の記述を補うことで、「天地無用」の本来の意味のもととなった出来事が分かるようにしている。

三 この文章を読んで、「天地無用」という言葉を見たときに誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## 出題の趣旨

- 文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉えること
- 文章の構成や展開について自分の考えをもつこと
- 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くこと

### 設問一

#### 趣旨

文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉えることができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 C 読むこと

イ 文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 《文章の解釈》

### 1. 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答	
①	1	1と解答しているもの	40.1	
	2	2と解答しているもの	6.3	
	3	3と解答しているもの	46.6	◎
	4	4と解答しているもの	6.8	
	99	上記以外の解答	0.0	
	0	無解答	0.2	

## 2. 分析結果と課題

- 解答類型1の反応率は40.1%である。このように解答した生徒は、文章の「全体では」という表現で始まる段落と《全体》のグラフ、文章の「年齢別に見ると」という表現で始まる段落と《年代別》のグラフをそれぞれ結び付けながら読み、内容を正しく捉えることができていないものと考えられる。
- A[5]二と本設問ともに誤答であった生徒は全体の23.7%である。これは、文章と図表などを関連させて内容を捉えることができていないものと考えられる。

## 3. 学習指導に当たって

### 文章と図表などとの関係を捉え、内容を的確に理解する

グラフや図表、写真やイラストなどが用いられている文章を読む際には、文章の構成や展開を適切に把握し、それぞれの図表などが文章のどの部分と関連しているのかを捉えるように指導することが大切である。また、書き手が図表などを用いた意図や読み手に与える効果について考えるように指導することも重要である。例えば、図表などが用いられた説明や記録の文章を読み、図表などが文章の中心的な部分、又は付加的な部分のどの部分と関連しているのかを確認し、互いに説明し合うなどの学習活動が考えられる。また、図表などを用いた説明や記録の文章を書くなど、「書くこと」の学習との関連を図ることも有効である。

指導に当たっては、平成24年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A[6]二に係る授業アイデア例「目的に応じて必要な情報を読み取ることができるようにする。」、「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語ー4「文章と図表との関係を読み解こう」も参考になる。

(参照)

「平成24年度【中学校】授業アイデア例」P. 2

「平成24年度【中学校】報告書」P. 150

「言語活動事例集【中学校版】」P. 25～P. 26

### 設問二

#### 趣旨

文章の構成や展開について自分の考えをもつことができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 C 読むこと

エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。

《自分の考えの形成》



## 1. 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型		反応率 (%)	正答
①	二	1	1と解答しているもの	65.1	◎
		2	2と解答しているもの	10.3	
		3	3と解答しているもの	14.0	
		4	4と解答しているもの	10.4	
		99	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.2	

## 2. 分析結果と課題

- 解答類型2～4の反応率はいずれも10.0%を超えている。このように解答した生徒は、それぞれの辞書の説明の内容を正しく捉えることができず、複数の辞書の説明を引用した書き手の意図とその効果について理解することができていないものと考えられる。また、「『天地無用』は、『荷物の上下を逆にしてはいけない』という意味です。」という一文に着目することができなかったものとも考えられる。

## 3. 学習指導に当たって

### 文章の構成や展開，表現の効果について考える

説明的な文章において、書き手は読み手の理解を促すために、文章の構成や展開を工夫したり、一つ一つの表現を工夫したりして書いている。文章を読む際には、それらの工夫や効果を具体的に考えるように指導することが大切である。例えば、同じテーマで書かれた複数の説明的な文章を比較しながら読み、それぞれの文章の構成や展開、表現の特徴を分析的に捉え、その工夫や効果について自分の考えをもつなどの学習活動が考えられる。その際、自分の考えを支える根拠となる段落や部分などを挙げるように指導することが重要である。

### 設問三

#### 趣旨

目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くことができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 B 書くこと

ウ 事実や事柄，意見や心情が相手に効果的に伝わるように，説明や具体例を加えたり，描写を工夫したりして書くこと。 《記述》

〔第1学年〕 C 読むこと

イ 文章の中心的な部分と付加的な部分，事実と意見などを読み分け，目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 《文章の解釈》



## 1. 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答	
①	三 (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 以下のa, bのうち、一つ以上の内容を適切に取り上げて書いている。 a 「してはならないこと」という意味を表す際に、現在は「無用」以外の表現を用いるようになっている。 b 「無用」という言葉に「してはならないこと」という意味での使い方があること自体が、分かりにくくなっている。 ② 以下のa, bのうち、一つ以上の内容を適切に取り上げて書いている。 a 「天地無用」には、「逆にする」に当たる内容が省略されている。 b 「逆にすること」が省略されていることに気付かないと、「天地無用」の「無用」の意味を、「してはならないこと」以外の意味で捉えてしまう。			
	1	条件①, ②を満たして解答しているもの	13.9	◎
	2	条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	19.0	
	3	条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	20.3	
	99	上記以外の解答	40.1	
	0	無解答	6.8	

## 2. 分析結果と課題

○ この文章では、「天地無用」を誤った意味で受け取る人が多い理由について、複数の段落を設け、「また」という接続詞を用いて大きく二つ述べている。そのような文章の構成や展開に着目しながら、目的に応じて文章を読み、内容を的確に捉えてまとめることが求められる。

○ 解答類型2の反応率は19.0%である。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ 「無用」は「してはならないこと」という意味だが、現在は、「禁止」という言葉を用いたり、丁寧に書かれたりするようになった。そのために、「してはならないこと」という意味での使い方があること自体、分かりにくくなっているから。
- ・ 「天地無用」の「無用」は「してはならないこと」という意味だが、最近はこの言葉を用いずに「禁止」という言葉を用いたり、もっと丁寧に「……しないでください」などと書かれたりすることが多いから。

このように解答した生徒は、目的に応じて、文章の内容の一部を捉えることはできているが、文章の構成や展開を踏まえ、必要かつ十分な内容を捉えることができていない。

○ 解答類型3の反応率は20.3%である。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ 「天地無用」は「天地を逆にすること無用」の「逆にする」という部分が省略された言い方になっているので、その省略部分に気付かなければ、「無用」の意味は「役に立たないこと。いらぬこと」や「用事が無いこと」にとられかねない。その結果、「天地はいらぬ＝上下は気にしなくていい」、「天地に用事はない＝天地は関係ない」と解釈されることになりやすいから。

このように解答した生徒は、目的に応じて、文章の内容の一部を捉えることはできているが、文章の構成や展開を踏まえ、必要かつ十分な内容を捉えることができていない。

○ 解答類型99の反応率は40.1%である。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ 「天地無用」は、本来、誤解があってはならない注意喚起の言葉ですから、見過ごせない結果であるといえるかもしれません。
- ・ 字面だけを見ても、そのことは分かりませんから、本来の意味で読み取るのは難しいでしょう。
- ・ 「無用」の意味は「役に立たないこと。いらぬこと」や「用事が無いこと」にとられかねない。その結果、「天地はいらぬ＝上下は気にしなくていい」、「天地に用事はない＝天地は関係ない」などと解釈されることになりやすいから。
- ・ 「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由は「無用」という言葉を「役に立たないこと。いらぬこと」や「用事が無いこと」という意味に取ってしまったからです。
- ・ 「天地無用」という言葉は、いつも荷物を取り扱っている人や、意味を知っている人にはごく当たり前のものかもしれないが、初めて目にした場合には解釈が難しい表現だから。

このように解答した生徒は、文章中の表現を用いて書いているが、目的に応じて文章を読み、必要な内容を捉えることができていない。

(例)

- ・ 無用の「無」という文字に目がいきついで、天地無用を天と地が無い、つまり上と下は関係ないと捉えてしまう人が多いから。
- ・ 「天地無用」は辞書によって書かれている意味が違うから。

このように解答した生徒は、目的に応じて文章を読むことができていないものと考えられる。また、文章に書かれていることを誤って捉えているものとも考えられる。

### 3. 学習指導に当たって

#### 目的に応じて文章の内容を読み取る

目的に応じて文章の内容を的確に読み取るためには、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、文章の構成や展開を捉えて内容を理解するように指導することが大切である。その際、段落ごとに内容を捉えたり、段落相互の関係を正しく押さえたりしながら、更に大きなまとまりごとに、文章全体における役割を捉えるように指導することが重要である。また、図表などが示されている文章を読む際は、文章と図表などとの関連を捉えたり、書き手の意図やその効果について考えたりするように指導することが大切である。

指導に当たっては、平成23年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B<sup>2</sup>一、三に係る授業アイデア例「文章の内容を『Q&A集』の形式で紹介する。」、平成24年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A<sup>6</sup>一に係る授業アイデア例「文章の展開に即して内容を捉えることができるようにする。」も参考になる。

(参照)

「平成23年度【中学校】授業アイデア例」P. 3～P. 4

「4年間のまとめ【中学校編】」P. 96～P. 97


「平成24年度【中学校】報告書」P. 148

#### ※出典等

- ・文化庁国語課『文化庁国語課の勘違いしやすい日本語』（平成27年12月 幻冬舎）による。

# 国語B2 資料を作成して発表する（ロボット）

人とコミュニケーションをとるロボットが、どのような会話をするのか詳しく聞きたいな。




南さん

これから「ロボットに期待すること」について発表します。  
 こちらの資料の①を見てください。私は、人とコミュニケーションをとることができる人型や動物型のロボットについて調べました。皆さんはこのようなロボットを見たことがありますか。それぞれのロボットによってできることは少しずつ違います。②にまとめましたが、特に私が注目したのは、人と触れ合うことで、一人一人の顔を覚えたり、接する相手に合わせて動いたりするロボットがあることです。ロボットも人間と同じように学習するということに驚きました。

私は、このような人とコミュニケーションをとることができるロボットを祖母に贈りたくりました。遠くに住んでいてなかなか会うことができない一人暮らしの祖母の生活に役立つと考えたからです。  
 ここまでで何か質問はありますか。

人とコミュニケーションをとるロボットが、どのような会話をするのか知りたいのですが、具体的な会話の例を教えてくださいませんか。



南さん 大野さん

山川さん

山川さんは、一人暮らしのおばあさんの生活にロボットがどのように役立つと考えているのですか。

【発表・質問の場面】

【発表・質問の場面の一部】

## ロボットに期待すること

### 1 人とコミュニケーションをとるロボットの例

#### 人型のロボット



#### 動物型のロボット



### 2 ロボットができることの例

- 人の言葉や行動を認識して反応する。
  - ・ 簡単な日常会話をする。
  - ・ ニュースや天気予報を伝える。
- 人と触れ合うことで学習する。
  - ・ 一人一人の顔を覚える。
  - ・ 接する相手に合わせて動く。

### 3 これからの社会とロボット

- ・ 65歳以上の人口の割合は、2060年には日本の総人口の約4割になる見込み。
- ・ 総務省のアンケート調査では、60代以上の54.5%が、人とコミュニケーションをとるロボットを「利用したい」、「利用を検討してもよい」と回答。

（総務省ウェブサイトによる。）

【資料】

2 山川さんは、総合的な学習の時間に、ロボットについて発表しています。次は、山川さんが発表のために作成した【資料】「発表の直前の場面」と、それに続く【発表・質問の場面の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。（発表の直前の場面）の中は、頭の中で考えていることを表します。

1 【発表・質問の場面の一部】の南さんと大野さんの質問の意図として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 南さんは事前にもっていた疑問を解決するために質問し、大野さんは山川さんの説明の誤りを指摘するために質問している。
- 2 南さんは事前にもっていた疑問を解決するために質問し、大野さんは説明を聞いて生じた疑問を解決するために質問している。
- 3 南さんは山川さんの説明の矛盾を指摘するために質問し、大野さんは説明を聞いて生じた疑問を解決するために質問している。
- 4 南さんは山川さんの説明の矛盾を指摘するために質問し、大野さんは山川さんの発表の要点を確かめるために質問している。

2 南さんと大野さんに続いて、あなたが山川さんに質問するとしたら、どのような質問をしますか。要領に添って一つ書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

3 山川さんは、最後にロボットに期待することを述べて発表をまとめます。山川さんの話の進め方として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 これまで話してきた内容や聞き手とのやりとりを踏まえた上で、【資料】の中の③の情報を取り上げながら発表をまとめる。
- 2 聞き手とのやりとりを通して生まれた新たな考えをもとに、【資料】の中の①と②の情報を使って発表をまとめる。
- 3 これまで話してきた内容や聞き手とのやりとりは踏まえずに、【資料】の中の③の情報を使って発表をまとめる。
- 4 聞き手とのやりとりの内容を受けて話の方向を転換し、【資料】の中の③の情報に触れずに発表をまとめる。

## 出題の趣旨

- ・ 質問の意図を捉えること
- ・ 話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問すること
- ・ 全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話すこと

### 設問一

#### 趣旨

質問の意図を捉えることができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

エ 必要に応じて質問しながら聞き取り, 自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。  
《聞くこと》

### 1. 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型	反応率 (%)	正答
②	—	1 1と解答しているもの	3.0	
		2 2と解答しているもの	87.1	◎
		3 3と解答しているもの	5.9	
		4 4と解答しているもの	3.8	
		99 上記以外の解答	0.0	
		0 無解答	0.2	

### 2. 分析結果と課題

- 解答類型1, 3, 4の反応率の合計は12.7%である。このように解答した生徒は, 質問の意図や質問に至る経緯を正しく理解することに課題がある。南さんが「説明の矛盾を指摘するため」に質問しているのではないことや, 大野さんが「説明の誤りを指摘するため」, 「発表の要点を確かめるため」に質問しているのではないことがそれぞれ理解できていない。また, 解答類型3, 4については, 大野さんは, 山川さんの説明を受けの中で疑問が生じているのに対し, 南さんは, 山川さんの説明を聞く前に既に疑問を抱いていることが理解できていない。

### 設問二

#### 趣旨

話の展開に注意して聞き, 必要に応じて質問することができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

エ 必要に応じて質問しながら聞き取り, 自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。  
《聞くこと》

## 1. 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答
②	二	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【資料】の中の①, ②に書かれていることや, 【発表・質問の場面の一部】の山川さんの発表に関する適切な質問を書いている。 ② 南さんと大野さんの質問と重ならない質問を書いている。 ③ 実際に話すように書いている。	
	1	条件①, ②, ③を満たして解答しているもの	88.6 ◎
	2	条件①, ②を満たし, 条件③を満たさないで解答しているもの	0.9
	3	条件①, ③を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの	0.8
	4	条件②, ③を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの	3.3
	99	上記以外の解答	0.6
	0	無解答	5.8

## 2. 分析結果と課題

○ 正答率は88.6%である。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ 接する相手に合わせて動くとは、具体的にはどのような動きをするのですか。
- ・ 人型のロボットと動物型のロボットのできることの違いは何ですか。

このように解答した生徒は、【資料】と、【発表・質問の場面の一部】の両方の内容を基に質問したものと考えられる。

(例)

- ・ ロボットがニュースや天気予報を伝える仕組みはどのようなものですか。

このように解答した生徒は、【資料】の内容を基に質問したものと考えられる。

(例)

- ・ 山川さんのおばあさんは、実際にロボットをもらったら喜ぶと思いますか。

このように解答した生徒は、【発表・質問の場面の一部】の内容を基に質問したものと考えられる。

### 3. 学習指導に当たって

説明や発表などを聞き、意図をもって質問する（対応設問：設問一・二）

説明や発表などを聞く際には、話の内容と自分の考えとを比較し、必要に応じて不明な部分や更に聞きたい事柄について質問するように指導することが引き続き大切である。また、話し手に対して、話の途中で聞き手に問いかけたり質問を促したりするなど、聞き手の反応やその場の状況に応じて適切な働きかけをするように指導することも効果的である。例えば、説明や発表で用いる資料を事前に読んで「何のために」、「どのような」質問をするかを具体的に考えたり、実際に説明や発表を聞いて質問する様子を動画で記録し、それを基に質問の内容やタイミングについて振り返ったりするなどの学習活動が考えられる。

#### 設問三

##### 趣旨

全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話すことができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

イ 全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。 《話すこと》

#### 1. 解答類型と反応率

問題番号	解 答 類 型		反応率 (%)	正答	
②	三	1	1と解答しているもの	55.1	◎
		2	2と解答しているもの	21.6	
		3	3と解答しているもの	10.5	
		4	4と解答しているもの	12.4	
		99	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.4	

#### 2. 分析結果と課題

- 解答類型2の反応率は21.6%である。このように解答した生徒は、【資料】の中の③の情報を取り上げながら発表をまとめることが、目的に合った適切な話の進め方であることが理解できていないものと考えられる。
- 解答類型3の反応率は10.5%である。このように解答した生徒は、聞き手の反応や聞き手とのやりとりを踏まえながら話すことが、効果的な話の進め方であることが理解できていないものと考えられる。
- 解答類型4の反応率は12.4%である。このように解答した生徒は、「ロボットに期待すること」を発表するという目的を意識することができていないものと考えられる。なお、解答類型1, 2, 4に反応した生徒は、聞き手の反応を踏まえて話すことについての意識はあるものと考えられる。



### 3. 学習指導に当たって

#### 目的に応じて話の構成を工夫し、聞き手の反応を踏まえながら話す

説明や発表などをする際には、話の全体として伝えたいことを明確にし、それを分かりやすく伝えるために各部分をどのように組み立てるかを考えるように指導することが大切である。また、聞き手の反応から、話の受け止め方や理解の状況を捉え、それらを踏まえながら話すように指導することも重要である。例えば、話し手と聞き手だけでなく、その場の様子を観察する立場を設け、発表の進め方等についてそれぞれの立場から検討するなどの学習活動が考えられる。

指導に当たっては、「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語－1 『『体験入部』の報告をしよう』も参考になる。

(参照)

「言語活動事例集【中学校版】」P. 19～P. 20

#### ※出典等

・【資料】は、総務省編『平成27年版情報通信白書』（平成27年7月 日経印刷）、総務省編『平成28年版情報通信白書』（平成28年8月 日経印刷）、経済産業省ウェブページ、国立研究開発法人日本医療研究開発機構ウェブページなどを参考にした。



国語B 3 文学的な文章を読む（「夢を買った話」）

3 次の文章は、古典を現代語に訳したものです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

〔川端喜明「宇治拾遺ものがたり」による〕

〔注1〕 郡司は国司のもとであつて、その国の郡を治める者。その国々の家業が任せられた。  
〔注2〕 長男殿のおいでで、長男殿がいらつしやうて。  
〔注3〕 次なんぞをくじつて、穴をあけて。

〔川端喜明「宇治拾遺ものがたり」による〕

一 この話に登場する人物についての説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 夢うらないの女は、ひきのまきひとの夢を不吉な夢だと予言した。
- 2 夢うらないの女は、ひきのまきひとに頼まれて彼の要求に応じた。
- 3 国司の長男殿は、ひきのまきひとを自分のライバルだと思ひ込んでいた。
- 4 国司の長男殿は、ひきのまきひとが自分の夢を取ったことを知っていた。

二 線部「考えてみると、夢を取るといふことは、なんと恐ろしいことではないか。」とありますが、これは誰の言葉ですか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 ひきのまきひと
- 2 夢うらないの女
- 3 国司の長男殿
- 4 この話の語り手

三 この話のあらすじを学校の友達に説明しようと思います。あなたならどのように説明しますか。次の条件1と条件2にしたがつて書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 話の展開を取り上げて書くこと。

条件2 七十字以上、百二十字以内で書くこと。

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。



## 2. 分析結果と課題

- 解答類型4の反応率は9.9%である。このように解答した生徒は、場面の展開や登場人物の描写に注意して読むことができていない。「まきひとは隣りの部屋にかくれ」で「国司の長男殿」の話の聞いていたことを適切に捉えられなかったものと考えられる。また、「まきひとに夢を取られていなかったら、この人こそ大臣にまでなっていたら。」という語り手の言葉から、「ひきのまきひとが自分の夢を取ったことを知っていた」と誤って捉えたものとも考えられる。

## 3. 学習指導に当たって

### 場面の展開や登場人物の描写に注意して読む

文学的な文章を読む際には、目的に応じて、時間的、空間的な場面の展開、登場人物の心情や行動、情景描写などに注意して読み、内容を的確に捉えることができるように指導することが引き続き大切である。例えば、作品の形態や特徴を生かしながら文学的な文章を朗読するなどの学習活動が考えられる。その際、場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、文章の理解を深めることができるように指導することが重要である。

指導に当たっては、平成24年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B③に係る授業アイデア例「プロの朗読を参考に、『走れメロス』の一場面を工夫して朗読する。」「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語－3『『蜘蛛の糸』を朗読しよう』も参考になる。

(参照)

「平成24年度【中学校】授業アイデア例」P. 5～P. 6

「平成24年度【中学校】報告書」P. 208～P. 209

「言語活動事例集【中学校版】」P. 23～P. 24

## 設問二

### 趣旨

登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てることができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 C 読むこと

イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。 《文章の解釈》

## 1. 解答類型と反応率

問題番号	解 答 類 型		反応率 (%)	正答	
③	二	1	1と解答しているもの	16.2	
		2	2と解答しているもの	7.6	
		3	3と解答しているもの	7.1	
		4	4と解答しているもの	68.8	◎
		99	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.4	

## 2. 分析結果と課題

- 解答類型1の反応率は16.2%である。このように解答した生徒は、傍線部を含む場面が「この話の語り手」の言葉であることを捉えることができていないものと考えられる。また、文章全体を読み、「ひきのまきひと」の言葉はかぎ（「 」）でくくられていることを捉えることができていないものとも考えられる。

## 3. 学習指導に当たって

### 登場人物の言動の意味を考える

文学的な文章を読む際には、登場人物の言葉や行動が、話の展開や作品全体に表れたものの見方などにどのように関わっているかを考えながら読むように指導することが大切である。その際、複数の場面や描写を相互に結び付けながら、それぞれの言動の意味を考えることができるように指導することが重要である。例えば、登場人物の言動や地の文の叙述などを整理し、場面や登場人物の設定の仕方についてまとめるなどの学習活動が考えられる。

指導に当たっては、「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語－8「登場人物のその後の生き方を考える（『夏の葬列』）」も参考になる。

（参照）

「言語活動事例集【中学校版】」P.33～P.34

## 設問三

### 趣旨

相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書くことができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 B 書くこと

ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。

《記述》

〔第1学年〕 C 読むこと

イ 文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 《文章の解釈》

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ア

(イ) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。

## 1. 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答
③	三 (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 話の展開を適切に取り上げて書いている。 ② 七十字以上、百二十字以内で書いている。		
	1 条件①, ②を満たしているもののうち、話の全体を取り上げて解答しているもの	30.8	◎
	2 条件①, ②を満たしているもののうち、話の一部分を取り上げて解答しているもの	18.8	◎

3	条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	0.8
4	条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	34.7
99	上記以外の解答	2.8
0	無解答	12.1

## 2. 分析結果と課題

○ 解答類型4の反応率は34.7%である。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ 備中の国の郡司の子に、ひきのまきひとというものがいた。気になる夢をみたので夢うらないの女にみてもらおうと、大臣になるすばらしい夢だと言われた。その後、ひきのまきひとはひたすら勉強し、ついには大臣にまで任命されたという話である。(113字)
- ・ 夢をうらなう女のところに、国司の長男殿がやってきて夢をみてもらいます。すばらしい夢であると言われた国司の長男殿は、ひきのまきひとの夢を横取りして、夢がかなえられるという話です。(89字)

このように解答した生徒は、話の展開を適切に捉えて書くことができていない。「ひきのまきひと」が見た夢は「べつになんということもな」い夢であり、「すばらしい夢」は「国司の長男殿」の夢のことである。また、「夢を横取り」したのは、「ひきのまきひと」である。

(例)

- ・ ひきのまきひとは、夢うらないの女のもとへ行き、国司の長男殿の夢を取った。その後、国司の長男殿は夢うらないの女のもとを去った。そして、ひきのまきひとは勉強して遣唐使になった。(87字)

このように解答した生徒は、時間的な場面の展開を適切に捉えて書くことができていない。「ひきのまきひと」が「国司の長男殿の夢を取った」のは、「国司の長男殿」が「夢うらないの女」のもとを去った後である。

(例)

- ・ 私はこの話を読んで、夢を取るということは恐ろしいと思いました。もし、自分の夢が他人に取られていたら、夢をかなえることができなくなってしまいます。昔から伝えられている話なので、自分の夢を人に話すのはやめようと思います。(109字)

このように解答した生徒は、この話を読んだ自分の感想のみを述べ、話の展開を取り上げて書くことができていない。

### 3. 学習指導に当たって

#### 話の展開を整理して、あらすじをまとめる

作品のあらすじをまとめる際には、それぞれの場面の内容や場面相互の関係を捉え、話の展開を踏まえるように指導することが大切である。その際、小学校での学習を踏まえ、時間や場所、問題状況などの設定、情景や場面の様子の変化、主人公などの登場人物、登場人物の性格や行動、会話及び心情の変化、事件の展開と解決などの基本的な構成要素を捉えて整理するように指導することが重要である。例えば、自分の選んだ作品のあらすじをまとめ、互いに伝え合い、内容を適切に表現することができるかどうかを確認し合うなどの学習活動が考えられる。

指導に当たっては、平成24年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B<sup>3</sup>に係る授業アイデア例「プロの朗読を参考に、『走れメロス』の一場面を工夫して朗読する。」、平成25年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B<sup>2</sup>Ⅲに係る授業アイデア例「星新一の作品を読んで、感想交流会を開こう」、平成26年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B<sup>3</sup>Ⅲに係る授業アイデア例「落語の演じ方を考える」、平成29年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B<sup>1</sup>Ⅲに係る授業アイデア例「読んだ本の魅力を紹介する」、「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語－5「昔話のルーツを紹介しよう」も参考になる。

(参照)

「平成24年度【中学校】授業アイデア例」P. 5～P. 6

「平成24年度【中学校】報告書」P. 208～P. 209

「平成25年度【中学校】授業アイデア例」P. 11～P. 12

「平成26年度【中学校】授業アイデア例」P. 13～P. 14

「平成29年度【中学校】授業アイデア例」P. 5～P. 6

「言語活動事例集【中学校版】」P. 27～P. 28

#### ※出典等

・川端善明「夢を買った話」(『宇治拾遺ものがたり』平成16年10月 岩波書店)による。









